

# 京都女子大学学則

昭和24年4月1日  
制 定

最近改正 令和5年4月1日

## 第1章 総則

第1条 本学は、仏教精神を基調として徳操を養い、教育基本法に基づき、学校教育法第83条の趣旨による大学教育を施し、温雅高潔な女子を育成することを目的とする。

第2条 本学は、京都女子大学と称する。

第3条 本学は、京都市東山区今熊野北日吉町35番地に置く。

第3条の2 本学の教育研究水準の向上をはかり、第1条の目的を達成するため、自ら点検・評価を行う。

2 点検・評価を行うために必要な事項は別に定める。

## 第2章 学部・学科等の組織

第4条 本学に文学部、発達教育学部、家政学部、現代社会学部、法学部及びデータサイエンス学部を設ける。

第5条 文学部、発達教育学部、家政学部、現代社会学部、法学部及びデータサイエンス学部それぞれ次の学科を置く。

文学部 国文学科、英文学科、史学科

発達教育学部 教育学科（教育学専攻、養護・福祉教育学専攻、音楽教育学専攻）、児童学科、心理学科

家政学部 食物栄養学科、生活造形学科

現代社会学部 現代社会学科

法学部 法学科

データサイエンス学部 データサイエンス学科

第6条 前条の学部、学科及び専攻ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的については、別に定める。

第7条 本学に大学院を置く。

2 大学院の学則は、別に定める。

第7条の2 本学に図書館を置く。

2 図書館の管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

## 第3章 修業年限及び定員

第8条 本学の修業年限は、4年とする。

2 学生は、8年をこえて在学することができない。ただし、第37条の規定により入学した学生は、4年をこえて在学することができない。

第9条 入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学部	科別人員	学 科	入学定員	収容定員
文 学 部		国 文 学 科	130	520
		英 文 学 科	125	500
		史 学 科	130	520
発 達 教 育 学 部	教 育 学 科	教 育 学 専 攻	95	380
		養 護 ・ 福 祉 教 育 学 専 攻	60	240
		音 楽 教 育 学 専 攻	35	140
		児 童 学 科	105	420
		心 理 学 科	55	220
家 政 学 部		食 物 栄 養 学 科	120	480
		生 活 造 形 学 科	120	480
現 代 社 会 学 部		現 代 社 会 学 科	250	1,000
法 学 部		法 学 科	120	480
データサイエンス学部		デ ー タ サ イ エ ン ス 学 科	95	380

#### 第4章 学年・学期・休業日

第10条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

第11条 学年を次の2学期に分ける。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

第12条 休業日は、次のとおりとする。

本学創立記念日 5月2日

親鸞聖人降誕祝日 5月21日

心の学園記念日 12月5日

日曜日・国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に定める休日

夏期休業 7月15日から9月10日まで

冬期休業 12月26日から翌年1月9日まで

春期休業 3月21日から3月31日まで

- 2 学長は、評議会の議を経て、前項の各休業日を変更し、また臨時に休業日を定めることができる。ただし、休業日といえども実習等を行うことは、これをさまたげない。

#### 第5章 教育課程

第13条 本学の教育課程は、別表1の通りとする。

第14条 前条に定めるもののほか教職その他の課程履修に必要な科目を置く。

第14条の2 第13条により編成する教育課程として、特定の課題に関する科目で構成する教育課程を京都女子大学副専攻プログラムとして開設し、その学修成果を認定することができる。

- 2 京都女子大学副専攻プログラムに関し必要な事項については、別に定める。

#### 第6章 履修方法及び課程修了の認定

第15条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

- 2 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上特に必要があると認められる場合は、これらの期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

第16条 授業は、講義、演習、実験・実習若しくは実技のいずれか、又はこれらの併用により行う。

- 2 文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

- 3 第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用

して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

第 17 条 授業科目の履修は、単位制とし、各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算する。

(1) 講義及び演習については、15 時間から 30 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30 時間から 45 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業製作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

第 18 条 本学を卒業するためには、別表に定める授業科目と単位を修得しなければならない。

2 他学部、他学科、他専攻科目を履修して修得した科目の単位は、卒業に必要な単位に算入することができる。必要な事項については、別に定める。

第 19 条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には所定の単位を与える。

第 19 条の 2 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60 単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

第 19 条の 3 本学が教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、第 19 条の 2 第 1 項及び第 2 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

第 19 条の 4 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として本学において履修した単位を含む。）を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った第 19 条の 3 第 1 項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。

3 前二項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、30 単位を上限とし、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて 60 単位を超えないものとする。

第 20 条 試験は、各授業科目の学修終了の認定試験及び卒業論文試験又は卒業研究試験とする。

第 21 条 卒業論文試験又は卒業研究試験は、最終年次の学年で所定の単位を修得した者について行う。

第 22 条 卒業論文試験又は卒業研究試験は、口述試問又は研究発表を課する。

第 23 条 授業科目の成績評価は、試験成績と平常成績を総合して判定し、上位より順に SS、S、A、B、C、D をもって表示し C 以上を合格とする。ただし、本学の定めるところにより、特定の授業科目については、これら以外の表記で成績評定を表すことができる。

第 24 条 教育職員免許状授与の所要資格を得ようとする者は第 18 条の規定によるほか、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

2 家政学部食物栄養学科の学生で栄養教諭一種免許状授与の所要資格を得ようとする者は前項によるほか、栄養士法、同法施行令、同法施行規則及び管理栄養士学校指定規則に定める所定の単位を修得しなければ

らない。

3 本学の学部において当該所要資格を取得できる教員の免許状の種類は、次のとおりとする。

学部・学科・専攻		免許状の種類	
文学部	国文学科	高等学校教諭一種免許状(国語) 中学校教諭一種免許状(国語)	
	英文学科	高等学校教諭一種免許状(外国語「英語」) 中学校教諭一種免許状(外国語「英語」)	
	史学科	高等学校教諭一種免許状(地理歴史) 中学校教諭一種免許状(社会)	
発達教育学部	教育学科	教育学専攻	小学校教諭一種免許状 幼稚園教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者)(肢体不自由者)(病弱者)
		養護・福祉教育学専攻	高等学校教諭一種免許状(保健) 中学校教諭一種免許状(保健) 養護教諭一種免許状
		音楽教育学専攻	高等学校教諭一種免許状(音楽) 中学校教諭一種免許状(音楽)
	児童学科	幼稚園教諭一種免許状	
家政学部	食物栄養学科	高等学校教諭一種免許状(家庭) 中学校教諭一種免許状(家庭) 栄養教諭一種免許状	
	生活造形学科	高等学校教諭一種免許状(家庭) 中学校教諭一種免許状(家庭)	
現代社会学部	現代社会学科	高等学校教諭一種免許状(公民) 中学校教諭一種免許状(社会)	
法学部	法学科	高等学校教諭一種免許状(公民) 中学校教諭一種免許状(社会)	
データサイエンス学部	データサイエンス学科	高等学校教諭一種免許状(数学) 高等学校教諭一種免許状(情報) 中学校教諭一種免許状(数学)	

4 教職に関する専門教育科目の修得は別表2のとおりとする。

第25条 家政学部食物栄養学科の学生で栄養士免許証授与の所要資格を得ようとする者は第18条の規定によるほか、栄養士法、同法施行令及び同法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

2 家政学部食物栄養学科の学生で管理栄養士国家試験の受験資格を得ようとする者は前項によるほか、管理栄養士学校指定規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

第25条の2 文学部国文学科、史学科、発達教育学部児童学科、家政学部生活造形学科及び現代社会学部現代社会学科の学生で博物館学芸員の資格を得ようとする者は第18条の規定によるほか、博物館法及び同法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

第25条の3 発達教育学部教育学科(教育学専攻、音楽教育学専攻)及び児童学科の学生で社会教育主事(「社会教育士」の称号)の所要資格を得ようとする者は第18条の規定によるほか、社会教育法及び社会教育主事講習等規程に定める所定の単位を修得しなければならない。

第25条の4 本学において、司書の所要資格を得ようとする者は第18条の規定によるほか、図書館法及び同法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

2 本学において、司書教諭の資格を得ようとする者は第18条の規定によるほか、教育職員免許法及び同法施行規則に定める小学校、中学校若しくは高等学校の教諭の教育職員免許状授与の所要資格を得るために必要な単位を修得するとともに、学校図書館司書教諭講習規程に定める科目を履修し単位を修得しなければならない。

3 本学において、学校司書課程の修了の認定を受けようとする者は第18条の規定によるほか、本学が定める所定の単位を修得しなければならない。

第25条の5 発達教育学部児童学科の学生で保育士の資格を得ようとするものは第18条の規定によるほか、児

童福祉法施行令及び児童福祉法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

#### 第 25 条の 6 削除

第 25 条の 7 発達教育学部教育学科養護・福祉教育学専攻の学生で社会福祉士国家試験の受験資格を得ようとする者は第 18 条の規定によるほか、社会福祉士及び介護福祉士法及び同法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

第 25 条の 8 家政学部食物栄養学科の学生で食品衛生管理者及び食品衛生監視員の資格を得ようとする者は第 18 条の規定によるほか、食品衛生法並びに同法施行令に定める所定の単位を修得しなければならない。

第 25 条の 9 発達教育学部心理学科の学生で公認心理師国家試験の受験資格を得ようとする者は第 18 条の規定によるほか、公認心理師法並びに同法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

第 25 条の 10 本学において、日本語教師課程の修了の認定を受けようとする者は第 18 条の規定によるほか、本学が定める所定の単位を修得しなければならない。

#### 第 7 章 卒業及び学士の学位

第 26 条 本学に 4 年以上在学し、所定の授業科目を履修しその単位を修得した者に対して、教授会の議を経て、学長は卒業を認定し、学士の学位を授与する。

- 2 学位の名称を使用する場合は、大学名を付するものとする。
- 3 学位授与に関する必要な事項は、別に定める学位規程によるものとする。

第 27 条 学長は前条により学士の学位を授与される者に対し、卒業証書・学位記を授与する。

#### 第 8 章 入学・編入学・転入学・再入学・転部・転科・休学・復学・退学・除籍及び復籍

第 28 条 入学の時期は、学年の始めとする。

第 29 条 本学に入学できる者は、女子であって次の各号の一に該当し、かつ、所定の入学試験に合格した者でなければならない。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程により 12 年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18 歳に達したもの

第 30 条 入学志願者は、指定期日までに、所定の書式に従い、入学願書、出身学校の調査書その他別に定める書類を提出するとともに、別表 4 に定める入学検定料を納入しなければならない。ただし、入学検定料の取扱いについては別に定める。

第 31 条 入学者の選抜は、調査書、学力検査、実技試験及び大学が必要に応じて実施する健康診断、面接、その他大学が適当と認める資料により、入学志願者の能力・適性等を総合して行い、その可否は教授会において判定するものとする。

- 2 学長は教授会の判定結果を踏まえ、入学予定者を決定する。

第 32 条 前条の入学予定者は、所定の期日までに誓約書・住民票記載事項証明書及び保証人の保証書を提出し、入学金及び学費の一部を納入しなければならない。

2 学長は、前項の手続きを完了した者に対して入学を許可する。

3 前 2 項の規定は編入学・転入学・再入学合格者についても適用する。

第 33 条 学費とは、授業料・教育充実費・課程履修費・実験実習費・校費等の諸費をいう。

第 34 条 保証人は、親権者若しくはそれに準ずる者であって、その学生について保証監督し、学費の支払い、その他の責を負うことができる者でなければならない。

第 35 条 削除

第 36 条 本人及び保証人に転居・改名等異動があった場合は、ただちにその旨を届け出なければならない。

2 保証人が死亡又はその他の事由でその責を果し得なくなったときは、新たに保証人を定めなければならない。

第 37 条 本学に編入学を希望する者については、教授会の議を経て、学長は相当年次への編入学を許可することができる。

2 前項により入学することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 大学に 2 年以上在学し、所定の単位を修得した者

(2) 短期大学を卒業した者

(3) 高等専門学校を卒業した者

(4) 専修学校の専門課程（修業年限が 2 年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者

第 38 条 他大学の学生が本学に転入学を願い出た場合は、本学に欠員があり、かつ、その者が所属する大学の学長の承認があるときに限り、学長は教授会の議を経て、これを許可することができる。

2 本学の学生が他大学に転入学しようとする場合は、これを学長に願い出て、その許可を受けなければならない。

第 39 条 前条第 1 項及び第 37 条第 1 項及び第 2 項の規定により、本学に編入学又は転入学を許可された者については、別に定めるところに従って以前に在学した学校において履修した授業科目とその単位数の一部又は全部を本学における授業科目・単位数として換算し認定することができる。

第 40 条 本学の学生が学内における転部・転科を願い出た場合は、学長は教授会の議を経て、これを許可することができる。

第 40 条の 2 本学の学生が、外国の大学又は短期大学への留学を願い出た場合は、学長は所定の手続きを経て、これを許可することができる。

2 留学に関し必要な事項は、別に定める。

第 41 条 学生が疾病その他の事由で引きつづき 3 カ月をこえて修学を中止するために休学を願い出た場合は、学長はこれを許可することができる。

2 疾病のために修学することが適当でないと認められる者について、学長はこれに休学を命ずることができる。

第 42 条 休学期間は、1 年以内とする。ただし、特別の事由がある場合は、1 年を限度として学長は休学期間の延長を認めることができる。

2 休学期間は、通算して 4 年をこえることができない。

3 休学期間は、第 8 条の在学期間には算入しない。

第 43 条 休学中の者が、休学の事由が消滅し、復学を願い出た場合は、学長はこれを許可することができる。

第 44 条 学生が保証人連署のうえ、退学を願い出た場合は、学長はこれを許可することができる。

第 45 条 退学した者が再入学を願い出た場合は、退学以前の成績・人物等を考査し、教授会の議を経て、学長はこれを許可することができる。

2 前項の再入学者に対しては、別に定めるところに従って、その退学以前に修得した授業科目とその単位数の

一部又は全部を所定の授業科目・単位数として換算し認定することができる。

第46条 次の各号の一に該当する者を学長は除籍するものとし、その際、当該学生の所属する教授会に意見を聴くことができる。

- (1) 学費の納入を1年間怠った者
- (2) 学費の納入を怠り、かつ、単位登録をしていない者
- (3) 第8条第2項に定める在学年限をこえた者
- (4) 第42条に定める休学期間をこえてなお復学できない者
- (5) 3ヵ月をこえて無届欠席する者
- (6) 死亡した者

第46条の2 前条第1号により除籍された者が5年以内に復籍を願い出た場合は、学長はこれを許可することができる。

#### 第9章 学費

第47条 入学金の額は別表5、学費の額は別表6のとおりとする。ただし、学費中、課程履修費・実験実習費及びその他の費用については別に定める。

- 2 学費中、授業料については、別表6に定めるところに従って2期に分納するものとする。
- 3 休学中の学費は、徴収しない。
- 4 京都女子大学学生の懲戒処分等に関する規程に定める自宅待機中及び停学中の学費の取扱いについては、同規程の定めるところによる。
- 5 既納の入学金及び学費は、事由の如何にかかわらず返還しない。ただし、入学手続時における入学金以外の取扱いについては、別に定める。
- 6 学費の納入を怠っている学生及びその保証人に対して、督促（納入を促すこと）を行う。
- 7 授業料等の納入が困難な者に対しては、選考の上、学長は授業料等を減免することができる。

#### 第10章 奨学金

第47条の2 本学に奨学生制度を設け、成績優良なる者又は経済的理由により修学困難な者に対しては、選考の上、学長は奨学金を給付することができる。

- 2 奨学生及び奨学金に関する規程は、別に定める。

#### 第11章 職員組織及び事務機構

第48条 本学に学長・教授・准教授・助教及び管理職員並びに事務職員を置く。ただし、本学が教育研究上の組織編制として適切と認めるときは、助教を置かないことができる。

- 2 前項のほか、必要に応じて講師・その他の職員を置くことができる。
- 3 学長は京都女子大学の校務を掌り、所属職員を統督する。
- 4 本学に副学長を置き、学長を補佐し、学長の命を受けて校務を掌る。
- 5 第4条に定めるそれぞれの学部で学部長を置き、学長のもとで学部に関する校務を掌る。
- 6 大学を教職協働体制で運営するために、学長のもとに大学運営機構、教育・学生支援機構、学術研究機構、宗教教育機構を設け、必要な校務を遂行する。
- 7 前項の運営に関する規則は、別に定める。
- 8 大学の事務を処理するために、必要な事務組織を置く。
- 9 第4項の他、学長の特命事項を処理するために特命副学長を置くことができる。

#### 第12章 評議会及び教授会

第49条 本学に評議会を置く。

- 2 評議会は、学長が招集する。
- 3 評議会は、学長、副学長、各学部長、宗教部長、総務部長、学生支援部長、学術支援部長及び各学部教授会

より選出された教授各2名をもって構成する。

第50条 評議会は学長が掌る全学的な教育研究及び運営に関する次の事項について審議し、及び学長の求めに応じて意見を述べることができる。

- (1) 教育及び研究に関する基本事項
- (2) 学則その他重要な規則の制定・改廃に関する事項
- (3) 学部、学科、専攻並びに附属施設の設置及び改廃に関する事項
- (4) 教員の資格審査の基本に関する事項
- (5) 教育課程編成の基本に関する事項
- (6) 入学試験大綱に関する事項
- (7) 学生の入学、卒業に関する基本事項
- (8) 教学予算に関する事項
- (9) 認証評価に関する事項
- (10) 名誉教授に関する事項
- (11) その他、大学の運営に関する重要事項

第51条 本学の各学部教授会を置く。

2 学部長は、教授会を招集し、その議長となる。

3 教授会は、教授をもって構成する。ただし、必要に応じて、准教授その他の職員を加えることができる。

第52条 教授会は、次に掲げる事項について学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了
- (2) 学位の授与
- (3) 前各号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定める事項。

2 教授会は前項の他、学長及び学部長が掌る教育研究に関する次の事項について審議し、及び学長等の求めに応じて、意見を述べることができる。

- (1) 教育及び研究に関する事項
- (2) 教育課程の編成に関する事項
- (3) 学部諸規程の改廃に関する事項
- (4) 教育目標等に関する事項
- (5) 学部長等の選出に関する事項
- (6) 教員の教育研究業績の審査に関する事項
- (7) 転部・転科、留学生の受入、科目等履修生の受入等に関する事項
- (8) 単位認定に関する事項
- (9) 学生の厚生補導に関する事項
- (10) その他、学部の運営に関する必要な事項

第52条の2 評議会及び教授会の運営に関する事項は、別に定める。

### 第13章 賞罰

第53条 学生として表彰に値する行為があった者に対しては、学長は表彰することができるものとし、その際、当該学生の所属する教授会の意見を聴くことができる。

第54条 学生が、学則その他の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為を行った場合には、学長は、学生懲戒等調査委員会の審議結果を踏まえこれを懲戒することができるものとし、その際、当該学生の所属する教授会の意見を聴くことができる。

2 懲戒の種類は、懲戒退学、停学及び訓告とする。



3 懲戒に関する事項は、別に定める。

#### 第 55 条 削除

##### 第 1 4 章 科目等履修生、科目等特別履修生及び外国人留学生

第 56 条 本学の学生以外の者で授業科目の一部の履修を願い出た者に対しては、在学生の学修にさしつかえない場合に限り、学長は教授会の議を経て、科目等履修生としてその履修を許可することができる。

2 科目等履修生が履修した授業科目については、本学が行う試験により学修の成果を評価して単位を与えることができる。

3 前 2 項のほか、科目等履修生に関する必要な規程は別に定める。

第 56 条の 2 他の大学又は短期大学の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他大学等との協議に基づき、科目等特別履修生として履修を許可することができる。

2 前項における科目等特別履修生に関する必要な事項は、別に定める。

第 56 条の 3 本学は、日本語や日本文化等を学ぶ留学生を科目等履修生として受け入れるために日本語プログラムを開設し、必要な授業科目を置く。

2 前項に定める日本語プログラムの教育課程は別表 3 の 2 の通りとする。

3 日本語プログラムに関する必要な規程は、別に定める。

第 57 条 外国人(第 29 条で規定する資格を有する外国人)で大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に志願する者があるときは、学長は、教授会の議を経て、外国人留学生として入学を許可することができる。

2 前項の外国人留学生に関する必要な規程は、別に定める。

##### 第 1 5 章 公開講座及び履修証明プログラム

第 58 条 本学は、公開講座を開設することができる。

第 58 条の 2 本学に学校教育法第 105 条及び学校教育法施行規則第 164 条に規定する特別の課程として履修証明プログラムを開設する。

2 履修証明プログラムに関する必要な規程は、別に定める。

##### 第 1 6 章 附属施設

第 59 条 第 1 条の目的を達成するために、本学に次の附属施設を置く。

#### (1) 学内共同教育支援センター

高等教育開発センター

キャリア開発センター

健康管理センター

教職支援センター

宗教教育センター

国際交流センター

地域連携研究センター

#### (2) 附置研究所

生活デザイン研究所

栄養クリニック

データサイエンス研究所

こころの相談室

宗教・文化研究所

#### (3) 附属小学校

#### (4) 学生寮

2 前項の各施設の運営に関する規則は、別に定める。

## 第17章 雑則

第60条 本学の教育・研究及び運営を適正に推進するために学長は評議会又は教授会の議を経て、委員会を設けることができる。

2 前項の委員会に関する規程は、別に定める。

第61条 本学則を施行するために必要な規則は、学長が評議会又は教授会の議を経て、これを定める。

第62条 本学則の改廃は、理事会がこれを行う。

附 則

本学則は、昭和24年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和31年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和39年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和43年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和50年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和55年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和56年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和60年5月20日から施行する。

附 則

本学則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和63年4月1日から施行する。

## 附 則

本学則は、平成元年4月1日から施行する。

## 附 則

本学則は、平成2年4月1日から施行する。

## 附 則

- 1 本学則は、平成3年4月1日から施行する。ただし、第24条及び別表1並びに別表2の規定は、平成2年度入学生から適用するものとし、他は従前のおりとする。
- 2 平成3年度の授業料の額に限り、別表6第2号の定めにかかわらず教育研究条件改善費の率「7%」を「5%」に読みかえ、次の各号に定める額の合計額とする（千円未満は切り捨てる）。
  - (1) 平成2年度の授業料の額
  - (2) 教育研究条件改善費の率5%と平成2年度の人事院勧告による指数を加算して得た乗率を、平成2年度の授業料の額に乗じて得た額

## 附 則

- 1 本学則は、平成3年10月1日から施行する。ただし、第26条及び第27条の規定は、平成3年7月1日から適用する。
- 2 別表6のうち、入学年度が59年度、60年度、61年度、62年度、63年度、元年度及び2年度の施設設備費については、平成3年10月1日から平成4年3月31日までの間、123,600を121,800と読みかえるものとする。

## 附 則

- 1 本学則は、平成4年4月1日から施行する。
- 2 第9条の規定にかかわらず、平成4年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

科別人員 学部	学 科	入学定員	
文 学 部	国 文 学 科	120	
	英 文 学 科	120	
	東 洋 史 学 科	120	
	教 育 学 科	初 等 教 育 学 専 攻	100
		音 楽 教 育 学 専 攻	20
家 政 学 部	食 物 学 科	70	
	被 服 学 科	80	
	児 童 学 科	100	

## 附 則

本学則は、平成4年6月11日から施行する。

## 附 則

- 1 本学則は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 第5条の規定にかかわらず、文学部東洋史学科、家政学部食物学科及び被服学科は、平成5年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間存続するものとする。
- 3 第9条の規定にかかわらず、平成5年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

科別人員 学部	学 科	入学定員
文 学 部	国 文 学 科	120
	英 文 学 科	120
	史 学 科	120
	教 育 学 科	初 等 教 育 学 専 攻

		音楽教育学専攻	20
家政学部	食物栄養学科		70
	生活造形学科		80
	児童学科		100

附 則

本学則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成9年5月30日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成10年4月1日から施行する。
- 2 平成10年度の学費に限り、別表6第2号の定めにかかわらず、教育研究条件改善費の率「3%」を「2.5%」に読みかえ、当該額（教育研究条件改善費の率2.5%を前年度の授業料の額に乗じて得た額）を施設設備費に加算して徴収するものとする。

附 則

- 1 本学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 第9条に規定する学生定員は、平成16年度までの間は、次のとおりとする。

科別人員 学部	学 科	入学定員					
		平成12年 度	平成13 年度	平成14年 度	平成15年 度	平成16 年度	
文学部	国文学科	123	120	118	116	115	
	英文学科	123	121	118	116	115	
	史学科	123	121	119	116	115	
	教育学科	初等教育学専攻	105	104	103	102	100
		音楽教育学専攻	25	24	23	22	20
家政学部	食物栄養学科	80	80	80	80	80	
	生活造形学科	85	83	81	79	75	
	児童学科	103	101	99	97	95	
現代社会学部	現代社会学科	220	220	220	220	220	

附 則

本学則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成14年4月1日から施行する。ただし、第25条及び第25条の5並びに別表1及び別表3の規定は、平成14年度入学生から適用するものとし、他は従前のとおりとする。

附 則

本学則は、平成14年7月1日から施行する。

## 附 則

本学則は、平成 14 年 10 月 1 日から施行する。

## 附 則

本学則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

本学則は、平成 15 年 6 月 1 日から施行する。

## 附 則

- 1 本学則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 5 条の規定にかかわらず、文学部教育学科、家政学部児童学科は、平成 16 年 3 月 31 日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間存続するものとする。
- 3 第 9 条の規定のうち、家政学部生活福祉学科については、1 学年 2 学級編成とする。

## 附 則

本学則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

本学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

本学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

本学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

本学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

本学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 16 条第 2 項及び第 3 項の規定並びに別表 1 教育課程及び履修方法 3 専門領域の発達教育学部教育学科教育学専攻科目のうち、「外国語活動指導法」については、平成 22 年度在学生から適用する。

## 附 則

本学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

本学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表 3 のうち、3 博物館学芸員資格に関する授業科目及び 5 図書館司書に関する授業科目については、平成 24 年度在学生から適用する。

## 附 則

本学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

本学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表 1 のうち、3 専門領域発達教育学部教育学科音楽教育学専攻及び法学部法学科については、平成 27 年度入学生から適用する。

## 附 則

本学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表 1 のうち、1 卒業に必要な単位及び 4 自由・発展領域については、平成 27 年度入学生から適用する。

## 附 則

本学則は、平成 29 年 10 月 1 日から施行する。

## 附 則

本学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

- 1 本学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 5 条の規定にかかわらず、発達教育学部教育学科（心理学専攻）及び家政学部生活福祉学科は、平成 31 年 3 月 31 日に当該学科（専攻）に在籍する者が、当該学科（専攻）に在籍しなくなるまでの間存続するものとする。

## 附 則

本学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

本学則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

本学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

本学則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

## 別表 1

## 教育課程及び履修方法

## 1 卒業に必要な単位

科目群	科目区分	卒業要件単位数	
		必修 (選択必修含む)	選択
建学科目群	仏教学	8 単位	
共通科目群	言語コミュニケーション科目	8 単位	30 単位以上
	情報基盤科目	4 単位	
	健康科学科目	2 単位	
	ジェンダー科目 連携活動科目 国際理解科目 教養科目 オープン科目	8 単位	
	専門科目群	学科専門科目	
合計 132 単位			

## 2 建学科目群

科目名	単位数	必選の別
仏教学		
仏教学 I A	2	必
仏教学 I B	2	必
仏教学 II A	2	必
仏教学 II B	2	必

## 3 共通科目群

科目名	単位数	必選の別
言語コミュニケーション科目		

<u>英語 I A1</u>	<u>1</u>	必
<u>英語 I A2</u>	<u>1</u>	必
<u>英語 I B1</u>	<u>1</u>	必
<u>英語 I B2</u>	<u>1</u>	必
英語 II A1	1	選
英語 II A2	1	選
英語 II A3	1	選
英語 II A4	1	選
英語 II A5	1	選
英語 II A6	1	選
英語 II A7	1	選
英語 II A8	1	選
英語 II B1	1	選
英語 II B2	1	選
英語 II B3	1	選
英語 II B4	1	選
英語 II B5	1	選
英語 II B6	1	選
英語 II B7	1	選
英語 II B8	1	選
英語 III A1	1	選
英語 III A2	1	選
英語 III B1	1	選
英語 III B2	1	選
ドイツ語 I A1	1	選
ドイツ語 I A2	1	選
ドイツ語 I B1	1	選
ドイツ語 I B2	1	選
ドイツ語 II A1	1	選
ドイツ語 II A2	1	選
ドイツ語 II A3	1	選
ドイツ語 II B1	1	選
ドイツ語 II B2	1	選
ドイツ語 II B3	1	選
ドイツ語 III A1	1	選
ドイツ語 III A2	1	選
ドイツ語 III B1	1	選
ドイツ語 III B2	1	選
ドイツ語 III A3	1	選
ドイツ語 III B3	1	選

フランス語 I A1	1	選
フランス語 I A2	1	選
フランス語 I B1	1	選
フランス語 I B2	1	選
フランス語 II A1	1	選
フランス語 II A2	1	選
フランス語 II A3	1	選
フランス語 II B1	1	選
フランス語 II B2	1	選
フランス語 II B3	1	選
フランス語 III A1	1	選
フランス語 III A2	1	選
フランス語 III B1	1	選
フランス語 III B2	1	選
フランス語 III A3	1	選
フランス語 III B3	1	選
中国語 I A1	1	選
中国語 I A2	1	選
中国語 I B1	1	選
中国語 I B2	1	選
中国語 II A1	1	選
中国語 II A2	1	選
中国語 II A3	1	選
中国語 II B1	1	選
中国語 II B2	1	選
中国語 II B3	1	選
中国語 III A1	1	選
中国語 III A2	1	選
中国語 III B1	1	選
中国語 III B2	1	選
中国語 III A3	1	選
中国語 III B3	1	選
コリア語 I A1	1	選
コリア語 I A2	1	選
コリア語 I B1	1	選
コリア語 I B2	1	選
コリア語 II A1	1	選
コリア語 II A2	1	選
コリア語 II A3	1	選
コリア語 II B1	1	選



コリア語ⅡB2	1	選
コリア語ⅡB3	1	選
コリア語ⅢA1	1	選
コリア語ⅢA2	1	選
コリア語ⅢB1	1	選
コリア語ⅢB2	1	選
コリア語ⅢA3	1	選
コリア語ⅢB3	1	選
日本語ⅠA1	1	選
日本語ⅠA2	1	選
日本語ⅠB1	1	選
日本語ⅠB2	1	選
ドイツ語、フランス語、中国語、コリア語のうち、1外国語につき4単位修得するものとする。日本語は外国人留学生に限り履修することができる。外国人留学生の言語コミュニケーション科目履修については、別に定める。		
情報基盤科目		
<u>情報リテラシー</u>	<u>2</u>	必
データ・AⅠリテラシー	2	必
情報基礎A	2	選
情報基礎B	2	選
情報基礎C	2	選
情報基礎D	2	選
データ・AⅠ基礎A	2	選
データ・AⅠ基礎B	2	選
データ・AⅠ基礎C	2	選
データ・AⅠ基礎D	2	選
健康科学科目		
<u>運動と健康科学</u>	<u>2</u>	必
<u>スポーツ実践</u>	<u>1</u>	選
ジェンダー科目		
ジェンダー研究入門	2	選
ジェンダー研究発展	2	選
歴史と女性	2	選
キャリア形成Ⅰ	2	選
キャリア形成Ⅱ	2	選
キャリア形成Ⅲ	2	選
ジェンダーと研究	2	選
職業体験実習	2	選
連携活動科目		
連携活動入門	2	選
地域連携講座A1	2	選

地域連携講座 A2	2	選
地域連携講座 A3	2	選
地域連携講座 B1	2	選
地域連携講座 B2	2	選
地域連携講座 B3	2	選
産学連携講座 A1	2	選
産学連携講座 A2	2	選
産学連携講座 B1	2	選
産学連携講座 B2	2	選
連携課題研究 1	2	選
連携課題研究 2	2	選
国際理解科目		
言語と文化 A1	2	選
言語と文化 A2	2	選
言語と文化 B1	2	選
言語と文化 B2	2	選
英語で京都を学ぶ	2	選
国際理解実習	2	選
語学・文化研修 A1	2	選
語学・文化研修 A2	2	選
語学・文化研修 A3	4	選
語学・文化研修 A4	4	選
語学・文化研修 A5	4	選
語学・文化研修 B1	2	選
語学・文化研修 B2	2	選
語学・文化研修 B3	4	選
語学・文化研修 B4	4	選
語学・文化研修 B5	4	選
教養科目		
教養科目 A(文学と思想 1)	2	選
教養科目 A(文学と思想 2)	2	選
教養科目 A(芸術と表現 1)	2	選
教養科目 A(芸術と表現 2)	2	選
教養科目 A(市民と社会 1)	2	選
教養科目 A(市民と社会 2)	2	選
教養科目 A(福祉と暮らし 1)	2	選
教養科目 A(福祉と暮らし 2)	2	選
教養科目 A(心とからだ 1)	2	選
教養科目 A(心とからだ 2)	2	選
教養科目 A(環境と生命 1)	2	選
教養科目 A(環境と生命 2)	2	選
教養科目 A(数と情報 1)	2	選

教養科目 A(数と情報 2)	2	選
教養科目 B(文学と思想 3)	2	選
教養科目 B(文学と思想 4)	2	選
教養科目 B(芸術と表現 3)	2	選
教養科目 B(芸術と表現 4)	2	選
教養科目 B(市民と社会 3)	2	選
教養科目 B(市民と社会 4)	2	選
教養科目 B(福祉とくらし 3)	2	選
教養科目 B(福祉とくらし 4)	2	選
教養科目 B(心とからだ 3)	2	選
教養科目 B(心とからだ 4)	2	選
教養科目 B(環境と生命 3)	2	選
教養科目 B(環境と生命 4)	2	選
教養科目 B(数と情報 3)	2	選
教養科目 B(数と情報 4)	2	選
京都の文学	2	選
京都と芸能	2	選
京都の歴史	2	選
京都の文化と産業	2	選
現代と仏教A	2	選
現代と仏教B	2	選
仏教文学A	2	選
仏教文学B	2	選
仏教文化A	2	選
仏教文化B	2	選
仏教思想A	2	選
仏教思想B	2	選
外国語で読む仏教A	2	選
外国語で読む仏教B	2	選
地域と仏教演習	2	選
社会と仏教特論	2	選

## 4 専門科目群

## 文学部国文学科

科目名	単位数	必選の別
<b>専門科目</b>		
国文学基礎講座A	2	必
国文学基礎講座B	2	必
国語学概説A	2	必
国語学概説B	2	必
入門演習A	2	必
入門演習B	2	必
基礎演習A	2	必
基礎演習B	2	必
国文学史1 A	2	選
国文学史1 B	2	選

国文学史 2 A	2	選
国文学史 2 B	2	選
国語史 A	2	選
国語史 B	2	選
講読上代 A	2	選
講読上代 B	2	選
講読中古 A	2	選
講読中古 B	2	選
講読中世 A	2	選
講読中世 B	2	選
講読近世 A	2	選
講読近世 B	2	選
講読近代 A	2	選
講読近代 B	2	選
講読漢文 A	2	選
講読漢文 B	2	選
講読国語学 A	2	選
講読国語学 B	2	選
演習 I A (上代)	2	選
演習 I B (上代)	2	選
演習 I A (中古)	2	選
演習 I B (中古)	2	選
演習 I A (中世)	2	選
演習 I B (中世)	2	選
演習 I A (近世)	2	選
演習 I B (近世)	2	選
演習 I A (近代)	2	選
演習 I B (近代)	2	選
演習 I A (漢文)	2	選
演習 I B (漢文)	2	選
演習 I A (国語学)	2	選
演習 I B (国語学)	2	選
演習 II A	2	必
演習 II B	2	必
国文学特殊講義 1 A	2	選
国文学特殊講義 1 B	2	選
国文学特殊講義 2 A	2	選
国文学特殊講義 2 B	2	選
国文学特殊講義 3 A	2	選
国文学特殊講義 3 B	2	選
国文学特殊講義 4 A	2	選
国文学特殊講義 4 B	2	選
国文学特殊講義 5 A	2	選
国文学特殊講義 5 B	2	選
国文学特殊講義 6 A	2	選
国文学特殊講義 6 B	2	選
国文学特殊講義 7 A	2	選
国文学特殊講義 7 B	2	選
国文学特殊講義 8 A	2	選
国文学特殊講義 8 B	2	選
国文学特殊講義 9 A	2	選

国文学特殊講義 9 B	2	選
国語学特殊講義 1 A	2	選
国語学特殊講義 1 B	2	選
国語学特殊講義 2 A	2	選
国語学特殊講義 2 B	2	選
日本文化特殊講義 A	2	選
日本文化特殊講義 B	2	選
書道 A	2	選
書道 B	2	選
漢文学 A	2	選
漢文学 B	2	選
民俗学	2	選
風俗文化史 A	2	選
風俗文化史 B	2	選
東洋思想史 A	2	選
東洋思想史 B	2	選
国語科教育法 1	2	選
国語科教育法 2	2	選
国語科教育法 3	2	選
国語科教育法 4	2	選
ことばとコミュニケーション	2	選
中国文学史 A	2	選
中国文学史 B	2	選
近代フランス文学論	2	選
朝鮮語史概論	2	選
ドイツ文学論	2	選
観光ドイツ語	2	選
観光フランス語	2	選
観光中国語	2	選
観光コリア語	2	選
卒業論文	6	必

## 文学部英文学科

科 目 名	単位数	必選の別
<b>専門科目</b>		
英語圏文化入門	2	必
言語・コミュニケーション入門	2	必
Oral Communication I	1	必
Grammar & Expression	1	必
TOEFL 演習 I	1	選
Oral Communication II	1	必
Reading & Writing	1	必
TOEFL 演習 II	1	選
TOEFL 演習 III	1	選
TOEIC 演習 I	2	必
Integrated Communication Skills I	1	必
TOEIC 演習 II	2	必
Integrated Communication Skills II		必
TOEIC 演習 III	2	選
Theatre Studies I	2	選
Speech & Presentation	2	選

TOEIC 演習IV	2	選
Advanced Communication I	2	選
Theatre Studies II	2	選
Debate & Discussion	2	選
Advanced Communication II	2	選
異文化理解基礎講義	2	選
英語学基礎講義	2	選
英米映画研究 1	2	選
イギリス文学基礎講義	2	選
アメリカ文学基礎講義	2	選
英語学研究	2	選
通訳・翻訳論	2	選
英語文法語法研究	2	選
英米文学研究 1	2	選
英語圏研究 1	2	選
英米映画研究 2	2	選
英語音声学	2	選
言語習得論	2	選
認知言語学	2	選
英米文学研究 2	2	選
英語圏研究 2	2	選
通訳ガイド演習	2	選
エアライン英語	2	選
ツーリズム・スタディーズ	2	選
児童英語教育	2	選
英語圏研究 3	2	選
メディア英語演習	2	選
英語で読む京都	2	選
英米文学研究 3	2	選
言語科学	2	選
ジェンダー批評	2	選
比較文化研究 1	2	選
ビジネス英語 I	2	選
旅行業務	2	選
英米児童文学研究	2	選
社会言語学	2	選
日英語対照研究	2	選
ビジネス英語 II	2	選
会議通訳演習	2	選
英語で語る京都	2	選
英米文学研究 4	2	選
英米演劇研究 I	2	選
英米演劇研究 II	2	選
比較文化研究 2	2	選
英語科教育法 1	2	選
英語科教育法 2	2	選
英語科教育法 3	2	選
英語科教育法 4	2	選
Pre-Study Abroad Seminar	1	選
Study Abroad 1	4	選
Study Abroad 2	4	選

Study Abroad 3	4	選
Study Abroad 4	4	選
Post-Study Abroad Seminar	1	選
ことばとコミュニケーション	2	選
中国文学史 A	2	選
中国文学史 B	2	選
近代フランス文学論	2	選
朝鮮語史概論	2	選
ドイツ文学論	2	選
観光ドイツ語	2	選
観光フランス語	2	選
観光中国語	2	選
観光コリア語	2	選
Basic Research Seminar I	2	必
Basic Research Seminar II	2	必
Research Seminar I	2	必
Research Seminar II	2	必
Advanced Research Seminar I	2	必
Advanced Research Seminar II	2	必
Graduation Research Seminar I	2	必
Graduation Research Seminar II	2	必
卒業研究	6	必

## 文学部史学科

科 目 名	単位数	必選の別
<b>専門科目</b>		
史学基礎演習 A	2	必
史学基礎演習 B	2	必
日本史概論 A	2	必
日本史概論 B	2	必
東洋史概論 A	2	必
東洋史概論 B	2	必
西洋史概論 A	2	必
西洋史概論 B	2	必
日本史入門演習 A	2	選
日本史入門演習 B	2	選
日本史演習 I A	2	選
日本史演習 I B	2	選
日本史演習 II A	2	選
日本史演習 II B	2	選
日本史講読 I A	2	選
日本史講読 I B	2	選
日本史講読 II A	2	選
日本史講読 II B	2	選
日本史講読 II C	2	選
日本史講読 II D	2	選
日本古文書 I A	2	選
日本古文書 I B	2	選
日本古文書 II A	2	選

日本古文書ⅡB	2	選
日本古文書ⅡC	2	選
日本古文書ⅡD	2	選
日本史特殊講義 1	2	選
日本史特殊講義 2	2	選
日本史特殊講義 3	2	選
日本史特殊講義 4	2	選
日本史特殊講義 5	2	選
日本史特殊講義 6	2	選
日本史特殊講義 7	2	選
日本史特殊講義 8	2	選
日本史特殊講義 9	2	選
日本史特殊講義 10	2	選
東洋史入門演習 A	2	選
東洋史入門演習 B	2	選
東洋史演習ⅠA	2	選
東洋史演習ⅠB	2	選
東洋史演習ⅡA	2	選
東洋史演習ⅡB	2	選
東洋史講読ⅠA	2	選
東洋史講読ⅠB	2	選
東洋史講読ⅡA	2	選
東洋史講読ⅡB	2	選
東洋史講読ⅡC	2	選
東洋史講読ⅡD	2	選
東洋史講読ⅢA	2	選
東洋史講読ⅢB	2	選
東洋史講読ⅢC	2	選
東洋史講読ⅢD	2	選
東洋史講読ⅣA	2	選
東洋史講読ⅣB	2	選
東洋史講読ⅣC	2	選
東洋史講読ⅣD	2	選
東洋史特殊講義 1	2	選
東洋史特殊講義 2	2	選
東洋史特殊講義 3	2	選
東洋史特殊講義 4	2	選
東洋史特殊講義 5	2	選
東洋史特殊講義 6	2	選
東洋史特殊講義 7	2	選
東洋史特殊講義 8	2	選
西洋史入門演習 A	2	選
西洋史入門演習 B	2	選
西洋史演習ⅠA	2	選
西洋史演習ⅠB	2	選
西洋史演習ⅡA	2	選
西洋史演習ⅡB	2	選
西洋史講読ⅠA	2	選
西洋史講読ⅠB	2	選
西洋史講読ⅡA	2	選
西洋史講読ⅡB	2	選



西洋史講読ⅡC	2	選
西洋史講読ⅡD	2	選
西洋史講読ⅢA	2	選
西洋史講読ⅢB	2	選
西洋史講読ⅢC	2	選
西洋史講読ⅢD	2	選
西洋史特殊講義 1	2	選
西洋史特殊講義 2	2	選
西洋史特殊講義 3	2	選
西洋史特殊講義 4	2	選
西洋史特殊講義 5	2	選
西洋史特殊講義 6	2	選
西洋史特殊講義 7	2	選
西洋史特殊講義 8	2	選
史学外書講読ⅠA	2	選
史学外書講読ⅠB	2	選
史学外書講読ⅡA	2	選
史学外書講読ⅡB	2	選
史学外書講読ⅡC	2	選
史学外書講読ⅡD	2	選
くずし字入門	2	選
東アジア史 A	2	選
東アジア史 B	2	選
ヨーロッパ史 A	2	選
ヨーロッパ史 B	2	選
20世紀史 A	2	選
20世紀史 B	2	選
漢文 A	2	選
漢文 B	2	選
ラテン語 A	2	選
ラテン語 B	2	選
ギリシア語 A	2	選
ギリシア語 B	2	選
日本美術史 A	2	選
日本美術史 B	2	選
東洋美術史	2	選
西洋美術史	2	選
歴史地理学概論	2	選
人文地理学概論	2	選
地誌	2	選
自然地理学	2	選
法律学研究	2	選
経済学研究	2	選
哲学研究	2	選
宗教学研究	2	選
考古学 A	2	選
考古学 B	2	選
社会科教育法（地理歴史分野）	2	選
社会科教育法（公民分野）	2	選
地理歴史科教育法	2	選
公民科教育法	2	選

ことばとコミュニケーション	2	選
中国文学史 A	2	選
中国文学史 B	2	選
近代フランス文学論	2	選
朝鮮語史概論	2	選
ドイツ文学論	2	選
観光ドイツ語	2	選
観光フランス語	2	選
観光中国語	2	選
観光コリア語	2	選
卒業論文	6	必

発達教育学部教育学科教育学専攻

科 目 名	単位数	必選の別
<b>学科共通科目</b>		
生涯学習概論Ⅰ	2	選
生涯学習概論Ⅱ	2	選
教育・福祉連携論	2	選
<b>専門科目</b>		
教育学入門演習Ⅰ	2	必
教育学入門演習Ⅱ	2	必
教育学演習Ⅰ	2	必
教育学演習Ⅱ	2	必
教育原論	2	必
人権教育論	1	必
教職論	2	必
教育心理学	2	必
教育課程論	2	必
教育方法論	2	必
教育行政学	2	必
教育哲学	2	選
教育史	2	選
教育社会学	2	選
比較・国際教育論	2	選
国語科教育内容論	2	選
社会科教育内容論	2	選
算数科教育内容論	2	選
理科教育内容論	2	選
生活科教育内容論	2	選
音楽科教育内容論	2	選
図工科教育内容論	2	選
家庭科教育内容論	2	選
体育科教育内容論	2	選
外国語科教育内容論	2	選
国語科教育方法論	2	選
社会科教育方法論	2	選
算数科教育方法論	2	選
理科教育方法論	2	選

生活科教育方法論	2	選
音楽科教育方法論	2	選
図工科教育方法論	2	選
家庭科教育方法論	2	選
体育科教育方法論	2	選
外国語科教育方法論	2	選
道徳教育論	2	選
特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2	選
生徒指導論	2	選
進路指導論	2	選
幼児理解と教育相談	2	選
保育内容指導法 1	2	選
保育内容指導法 2	2	選
保育内容指導法 3	2	選
保育内容指導法 4	2	選
保育内容指導法 5	2	選
教育実習論 I	1	選
教育実習論 II	1	選
教育実習 I	2	選
教育実習 II	3	選
教職実践演習 (幼・小)	2	選
特別支援教育論	1	選
特別支援教育総論	2	選
インクルーシブ教育論	2	選
知的障害者の生理・病理	2	選
病弱者の心理・生理・病理	2	選
知的障害教育論	2	選
知的障害者の心理	2	選
肢体不自由者の医学概論	2	選
肢体不自由教育論	2	選
病弱教育論	2	選
知的障害児 (者) の発達と教育	2	選
肢体不自由児 (者) の発達と教育	2	選
病弱児の心理と教育	2	選
視覚障害者教育総論	2	選
聴覚障害者教育総論	2	選
重複障害・発達障害教育論	2	選
特別支援教育実習論	1	選
特別支援教育実習	2	選
ピアノ・ベーシック A	1	選
ピアノ・ベーシック B	1	選
学校教育論	2	選
学校外教育論	2	選
発達心理学	2	選
多文化教育論	2	選
アートとメディアリテラシー教育	2	選
学級経営論	2	選
幼児教育論	2	選
社会教育基礎実習	2	選
ジェンダーと教育	2	選
生涯学習支援論 I	2	選

生涯学習支援論Ⅱ	2	選
社会教育経営論Ⅰ	2	選
社会教育経営論Ⅱ	2	選
外国書講読	2	選
教育調査・統計法	2	選
社会教育実習	2	選
教育評価論	2	選
家庭教育論	2	選
自然体験型環境教育	2	選
遊び活動演習	2	選
国語科実践研究	2	選
理科実践研究	2	選
音楽科実践研究	2	選
体育科実践研究	2	選
家庭科実践研究	2	選
算数科実践研究	2	選
社会科実践研究	2	選
図工科実践研究	2	選
生活科実践研究	2	選
社会教育演習	2	選
社会教育課題研究	2	選
教育学研究Ⅰ	2	必
教育学研究Ⅱ	2	必
教育学研究Ⅲ	2	必
教育学研究Ⅳ	2	必
卒業研究	6	必

## 発達教育学部教育学科養護・福祉教育学専攻

科目名	単位数	必選の別
<b>学科共通科目</b>		
生涯学習概論Ⅰ	2	選
生涯学習概論Ⅱ	2	選
教育・福祉連携論	2	選
<b>専門科目</b>		
入門演習Ⅰ	2	必
入門演習Ⅱ	2	必
基礎演習Ⅰ	2	必
基礎演習Ⅱ	2	必
社会福祉概論Ⅰ	2	必
社会福祉概論Ⅱ	2	選
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	2	選
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	2	選
解剖生理学	2	必
社会学	2	選
教職論	2	選
教育原論	2	選
教育心理学	2	選
臨床医学概論	2	必

養護概説	2	選
人体生理学	2	選
心理学	2	選
ソーシャルワーク論Ⅰ	2	選
ソーシャルワーク論Ⅱ	2	選
ソーシャルワーク演習Ⅰ	1	選
ソーシャルワーク演習Ⅱ	1	選
看護学Ⅰ	2	選
看護学Ⅱ	2	選
地域福祉論Ⅰ	2	選
地域福祉論Ⅱ	2	選
学校保健	2	選
児童・家庭福祉論	2	選
微生物学	2	選
免疫学	2	選
特別支援教育論	1	選
道徳教育論	2	選
教育課程論	2	選
教育方法論	2	選
人権教育論	1	選
障害者福祉論	2	選
救急処置及び看護法	2	選
栄養学	2	選
精神保健Ⅰ	2	選
精神保健Ⅱ	2	選
社会保障論Ⅰ	2	選
社会保障論Ⅱ	2	選
ソーシャルワーク論Ⅲ	2	選
ソーシャルワーク論Ⅳ	2	選
ソーシャルワーク演習Ⅲ	1	選
ソーシャルワーク演習Ⅳ	1	選
公衆衛生学	2	選
身体動作学	2	選
公的扶助論	2	選
看護技術Ⅰ	2	選
看護技術Ⅱ	2	選
保健医療論	2	選
老人福祉論	2	選
保健科教育法 1	2	選
保健科教育法 2	2	選
保健科教育法 3	2	選
保健科教育法 4	2	選
運動生理学	2	選
衛生学	2	選
法学	2	選
健康相談活動論	2	選
ソーシャルワーク演習Ⅴ	1	選
薬理概論	2	選
社会福祉調査	2	選
教育行政学	2	選
特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2	選

生徒指導論	2	選
進路指導論	2	選
小児保健	2	選
看護臨床実習指導	1	選
看護臨床実習	1	選
スクールソーシャルワーク論	2	選
スクールソーシャルワーク演習	1	選
スクールソーシャルワーク実習指導	1	選
スクールソーシャルワーク実習	2	選
ソーシャルワーク実習	4	選
ソーシャルワーク実習指導	3	選
福祉サービスの組織と経営	2	選
養護教育実習論	1	選
養護教育実習	4	選
教職実践演習(養護教諭)	2	選
教育実習論	1	選
教育実習	2	選
中学校教育実習	2	選
教職実践演習(中・高)	2	選
演習Ⅰ	2	必
演習Ⅱ	2	必
研究法Ⅰ	2	必
研究法Ⅱ	2	必
卒業研究	6	必

発達教育学部教育学科音楽教育学専攻

科目名	単位数	必選の別
<b>学科共通科目</b>		
生涯学習概論Ⅰ	2	選
生涯学習概論Ⅱ	2	選
教育・福祉連携論	2	選
<b>専門科目</b>		
音楽教育学入門演習Ⅰ	2	必
音楽教育学入門演習Ⅱ	2	必
ソルフェージュ	2	必
声楽Ⅰ	1	必
ピアノⅠ	1	必
音楽史Ⅰ(西洋)	2	必
音楽史Ⅱ(日本及び民族)	2	必
音楽文化特論Ⅰ(西洋)	2	必
音楽文化特論Ⅱ(日本及び民族)	2	必
音楽理論Ⅱ	2	必
音楽理論Ⅲ	2	必
合奏Ⅰ	2	必
合唱Ⅰ	2	必
合唱Ⅱ	2	選
音楽理論Ⅰ	2	選

声楽 2	1	選
声楽 3	1	選
声楽 4	1	選
ピアノ 2	1	選
ピアノ 3	1	選
ピアノ 4	1	選
管楽器入門	1	選
管楽器 1	1	選
管楽器 2	1	選
声楽基礎 I	2	選
声楽基礎 II	2	選
器楽基礎 I	2	選
器楽基礎 II	2	選
和楽器演習 I	2	選
和楽器演習 II	2	選
音楽理論 4	2	選
伴奏法	2	選
指揮法 I	2	選
指揮法 II	2	選
アナリーゼ	2	選
音楽理論 5	2	選
音楽理論 6	2	選
キーボードハーモニー	2	選
音楽音響学	2	選
音楽療法	2	選
合唱指導法	2	選
音楽教育概論	2	選
ピアノ指導法	2	選
現代音楽	2	選
音楽心理学	2	選
チェンバロ奏法	2	選
合奏 2	2	選
合奏指導法	2	選
音楽理論 7	2	選
作曲法	2	選
音楽実技 A1	1	選
音楽実技 A2	1	選
音楽実技 A3	1	選
音楽実技 A4	1	選
音楽実技 B1	1	選
音楽実技 B2	1	選
音楽実技 B3	1	選
音楽実技 B4	1	選
アンサンブル研究 1	2	選
アンサンブル研究 2	2	選

教育原論	2	選
教職論	2	選
教育行政学	2	選
教育心理学	2	選
特別支援教育論	1	選
教育課程論	2	選
道德教育論	2	選
特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2	選
教育方法論	2	選
生徒指導論	2	選
進路指導論	2	選
教育実習論	1	選
教育実習	2	選
中学校教育実習	2	選
教職実践演習（中・高）	2	選
音楽科教育法 1	2	選
音楽科教育法 2	2	選
音楽科教育法 3	2	選
音楽科教育法 4	2	選
人権教育論	1	選
音楽文化研究 I	2	必
音楽文化研究 II	2	必
音楽教育演習 I	2	必
音楽教育演習 II	2	必
音楽教育演習 III	2	必
音楽教育演習 IV	2	必
卒業研究	6	必

## 発達教育学部児童学科

科 目 名	単位数	必選の別
<b>専門科目</b>		
児童学入門演習 I	2	必
児童学入門演習 II	2	必
児童学基礎演習 I	2	必
児童学基礎演習 II	2	必
教職論	2	必
教育原論	2	必
教育心理学 I	2	必
発達心理学 I	2	必
児童表現学	2	必
人権教育論	1	必
生理学演習	2	選
ピアノ・ベーシック A	1	選
児童保健学	2	必
児童文化学	2	必
教育心理学 II	2	選
幼児と表現	2	選



保育原理	2	選
乳児保育 I	2	選
絵本論	2	選
現代文化・芸術論	2	選
ピアノ・ベーシック B	1	選
発達心理学 II	2	選
社会福祉	2	選
児童家庭福祉	2	選
障害児保育	2	選
児童文学論	2	選
児童音楽 I	2	選
児童図工 I	2	選
幼児と健康	2	選
幼児と言葉	2	選
保育内容総論	1	選
保育内容演習 (健康)	1	選
乳児保育 II	1	選
多文化教育論	2	選
生涯学習概論 I	2	選
保育実習 I	4	選
保育実習指導 I	2	選
子ども子育て支援演習 I	1	選
教育課程論	2	選
児童体育 I	2	選
児童栄養	2	選
子ども家庭支援論	2	選
社会的養護 I	2	選
幼児と人間関係	2	選
幼児と環境	2	選
保育内容演習 (言葉)	1	選
保育内容演習 (表現)	1	選
児童文化活動論	2	選
教育社会学	2	選
ジェンダーと教育	2	選
生涯学習概論 II	2	選
社会教育基礎実習	2	選
発達支援演習	2	必
児童保健学演習	2	必
児童文化学実習	2	必
教育行政学	2	選
特別支援教育論	1	選
児童発達研究法実習 I	2	選
児童体育 II	2	選
音楽あそび	2	選
児童図工 II	2	選
保育内容演習 (人間関係)	1	選
保育内容演習 (環境)	1	選
幼児教育方法論	2	選
保育実習 II	2	選
保育実習指導 II	1	選
保育実習 III	2	選

保育実習指導Ⅲ	1	選
生涯学習支援論Ⅰ	2	選
社会教育経営論Ⅰ	2	選
子ども子育て支援演習Ⅱ	1	選
教育実習	4	選
教育実習論	1	選
児童学実践演習	1	必
児童社会学	2	選
社会的養護Ⅱ	1	選
子育て支援	1	選
障害児支援実習	2	選
子どもの認知発達	2	選
児童発達研究法実習Ⅱ	2	選
パーソナリティ発達研究	2	選
人形劇演習	2	選
児童音楽Ⅱ	2	選
生涯学習支援論Ⅱ	2	選
社会教育経営論Ⅱ	2	選
社会教育実習	2	選
生涯運動演習	2	選
音楽応用演習Ⅰ	1	選
おもちゃ研究	1	選
社会教育演習	2	選
保育・教職実践演習（幼）	2	選
音楽応用演習Ⅱ	1	選
社会教育課題研究	2	選
児童学専門演習Ⅰ	2	必
児童学専門演習Ⅱ	2	必
児童学研究演習Ⅰ	2	必
児童学研究演習Ⅱ	2	必
卒業研究	6	必

## 発達教育学部心理学科

科目名	単位数	必選の別
<b>専門科目</b>		
心理学入門演習	2	必
心理的アセスメント	2	必
心理学概論	2	必
臨床心理学概論	2	必
公認心理師の職責	2	選
心理学統計法	2	必
人体の構造と機能及び疾病	2	選
医療倫理学	2	選
心理学研究法Ⅰ	2	必
心理学研究法Ⅱ	2	選
心理学研究法Ⅲ	2	選
心理学研究法Ⅳ	2	選
心理学文献講読Ⅰ	2	必
心理学文献講読Ⅱ	2	必
心理学実験Ⅰ	2	選

心理学実験Ⅱ	2	選
発達心理学	2	選
乳幼児心理学	2	選
障害者・障害児心理学	2	選
感情・人格心理学	2	選
精神疾患とその治療	2	選
学習・言語心理学 A	2	選
学習・言語心理学 B	2	選
教育・学校心理学 A	2	選
教育・学校心理学 B	2	選
知覚・認知心理学 A	2	選
知覚・認知心理学 B	2	選
心理学的支援法 A	2	選
心理学的支援法 B	2	選
社会・集団・家族心理学 A	2	選
社会・集団・家族心理学 B	2	選
司法・犯罪心理学 A	2	選
司法・犯罪心理学 B	2	選
青年心理学	2	選
生徒指導心理学	2	選
発達障害児の心理と教育	2	選
教育認知心理学	2	選
福祉心理学	2	選
関係行政論	2	選
産業・組織心理学	2	選
神経・生理心理学	2	選
健康・医療心理学	2	選
成人・老年心理学	2	選
心理演習 A	2	選
心理演習 B	2	選
心理学演習Ⅰ	2	必
心理学演習Ⅱ	2	必
心理学演習Ⅲ	2	必
心理学演習Ⅳ	2	必
心理実習	2	選
卒業研究	6	必

## 家政学部食物栄養学科

科目名	単位数	必選の別	管理 栄養士	栄養士
<b>専門科目</b>				
基礎の生物学	2	必		
基礎の有機化学	2	必		
基礎の化学	2	必		
食物栄養基礎演習	2	必		
基礎調理学	2	必		
解剖生理学	2	必	○	○
調理学実習Ⅰ	1	必	○	○
食物栄養の化学	2	必		
生化学	2	必	○	○
応用調理学	2	選	○	○

科学英語A	2	必		
基礎実験	1	必		
食品加工学実習	1	選	○	○
調理学実習Ⅱ	1	必	○	○
臨床医学概論	2	選	○	
応用生理学	2	選	○	○
食品学総論	2	必	○	○
食品学各論	2	必	○	○
基礎栄養学	2	必	○	○
ライフステージ別栄養学	2	選	○	○
運動栄養学	1	選	○	○
食品衛生学	2	必	○	○
栄養教育総論	2	選	○	○
給食運営論	2	選	○	○
栄養評価論	2	選	○	
食品学実験	2	必	○	○
基礎栄養学実習	1	選	○	○
臨床病態学	2	選	○	
微生物学	2	選	○	
介護福祉概論	2	選	○	○
栄養教育各論	2	選	○	○
臨床栄養学	2	選	○	○
バイオテクノロジー	2	選		
科学英語B	2	選		
栄養機能論	1	選	○	○
病態栄養学	2	選	○	
給食経営管理論	2	選	○	
学校栄養指導論	2	選		
生化学実験	1	必	○	○
食品衛生学実験	1	必	○	○
ライフステージ別栄養学実習	1	選	○	○
給食運営実習	1	選	○	○
臨床栄養学実習	1	選	○	○
公衆衛生学	2	必	○	○
公衆栄養学	2	選	○	○
栄養カウンセリング論	2	選	○	
臨床栄養管理学	2	選	○	
栄養薬理学	1	選	○	
生理学実験	1	必	○	○
解剖生理学実験	1	選	○	
バイオテクノロジー実験	1	選	○	
臨床栄養管理学実習	1	選	○	
栄養教育論実習	1	選	○	○
給食経営管理実習	1	選	○	○
健康環境論	2	選	○	
給食運営校外実習事前事後指導	1	選	○	○
分子栄養学	2	選	○	○
機器分析概論	2	選		
公衆栄養活動論	1	選	○	
栄養疫学	1	選	○	
調理学実習Ⅲ	1	選		

バイオサイエンス実験	1	選		
公衆栄養学実習	1	選	○	○
給食運営校外実習	1	選	○	○
チーム医療論	1	選	○	
学校栄養実践論	2	選		
臨床栄養実践論	2	選		
食行動療法論	2	選		
健康教育実践論	2	選		
スポーツ栄養学	2	選		
バイオサイエンス	2	選		
食品開発論	2	選		
食空間プロデュース論	2	選		
臨床心理学概論	2	選		
食生活・食文化論	2	選		
フードコーディネータ論	2	選		
管理栄養士特別演習	2	選	○	
食物栄養研究法Ⅰ	2	必		
食物栄養研究法Ⅱ	2	必		
食物栄養研究法Ⅲ	2	必		
臨地実習事前事後指導	1	選	○	
臨地実習（臨床栄養学Ⅰ）	1	選	}	
臨地実習（臨床栄養学Ⅱ）	1	選		
臨地実習（臨床栄養学Ⅲ）	1	選		○
臨地実習（公衆栄養学）	1	選		
臨地実習（給食経営管理論）	1	選		
情報処理	2	選		
被服学概論	2	選		
住居学概論	2	選		
保育学	2	選		
家庭経営学	2	選		
衣服実習	2	選		
家庭電気・機械	2	選		
家庭科教育法 1	2	選		
家庭科教育法 2	2	選		
家庭科教育法 3	2	選		
家庭科教育法 4	2	選		
卒業研究	6	必		

備考： 管理栄養士国家試験受験資格又は栄養士資格の取得を希望する学生は、管理栄養士欄又は栄養士欄に○印を付した科目を必ず修得すること。なお、臨地実習については5科目中3科目を選択履修すること。

#### 家政学部生活造形学科

科目名	単位数	必選の別
<b>専門科目</b>		
生活造形基礎演習	2	必
生活デザインベーシック	2	必
衣生活概論	2	必
建築一般構造	2	必
アパレル製作実習	2	選
建築設計製図実習	2	選
デザイン実習Ⅰ	2	選
生活文化学	2	選

色彩学	2	選
ファッションデザイン学	2	選
アパレル設計学	2	選
デザイン人間工学 1	2	選
住宅計画	2	選
構造計画	2	選
デザイン実習 II	2	選
ファッションデザイン学実習 I	2	選
アパレル設計製図実習	2	選
空間デザイン実習 I A	2	選
空間デザイン実習 I B	2	選
クリエイティブ・ライティング	2	選
デザイン材料論	2	選
World Art History 1	2	選
デザイン人間工学 2	2	選
アパレル材料学 1	2	選
日本服飾史	2	選
アパレル体型学	2	選
ファッションブランド論	2	選
建築計画 1	2	選
住宅再生論	2	選
インテリア計画	2	選
日本建築史	2	選
環境計画	2	選
デザイン実習 III	2	選
ファッションデザイン学実習 II	2	選
アパレル CAD 実習	2	選
空間デザイン実習 II A	2	選
空間デザイン実習 II B	2	選
建築 CAD 実習 A	2	選
建築 CAD 実習 B	2	選
外書講読 1	2	選
構造力学 I	2	選
京都工芸論 1	2	選
造形芸術論 1	2	選
World Art History 2	2	選
デザインマーケティング論	2	選
アパレル材料学 2	2	選
アパレル染色学	2	選
西洋服飾史	2	選
ファッション社会学	2	選
アパレル造形学	2	選
ファッションビジネス論	2	選
建築計画 2	2	選
インテリアエレメント	2	選
西洋建築史	2	選
建築環境工学	2	選
伝統技法演習	2	選
デザイン実習 IVA	2	選
デザイン実習 IVB	2	選
デザイン実習 IVC	2	選

アパレル繊維・材料学実験Ⅰ	2	選
テキスタイルデザイン実習	2	選
アパレル生産実習	2	選
空間デザイン実習ⅢA	2	選
空間デザイン実習ⅢB	2	選
地域建築再生論	2	選
構造力学Ⅱ	2	選
近代日本絵画史	2	選
造形芸術論2	2	選
景観デザイン論	2	選
web デザイン演習	2	選
京都学	2	選
衣環境論	2	選
アパレル管理学	2	選
アパレル企画論	2	選
室内様式史	2	選
建築材料	2	選
外書講読2	2	選
デザイン実習VA	2	選
デザイン実習VB	2	選
アパレル繊維・材料学実験Ⅱ	2	選
アパレル企画実習	2	選
工芸染色実習	2	選
テキスタイルアドバイザー実習	2	選
空間デザイン実習ⅣA	2	選
空間デザイン実習ⅣB	2	選
建築デザイン論	2	選
デザイン実習VC	2	選
消費生活論	2	選
論文作成演習	2	選
京都工芸論2	2	選
ファッション文化論	2	選
アパレル特殊講義	2	選
建築法規	2	選
建築設備	2	選
建築施工	2	選
アパレル染色整理学実験	2	選
アパレル造形実習	2	選
空間造形実習A	2	選
空間造形実習B	2	選
空間造形実習C	2	選
メディアデザイン	2	選
消費科学	2	選
生活造形学専門演習	2	必
生活造形学卒業研究演習Ⅰ	2	必
生活造形学卒業研究演習Ⅱ	2	必
食物栄養学概論	2	選
保育学	2	選
住居学概論	2	選
家庭経営学	2	選
調理実習	2	選

家庭電気・機械	2	選
情報処理	2	選
家庭科教育法 1	2	選
家庭科教育法 2	2	選
家庭科教育法 3	2	選
家庭科教育法 4	2	選
卒業研究	6	必

## 現代社会学部現代社会学科

科 目 名	単位数	必選の別
<b>専門科目</b>		
現代社会入門Ⅰ	2	必
現代社会入門Ⅱ	2	必
ジェンダーと現代社会	2	必
専門英語Ⅰ	2	選
専門中国語Ⅰ	2	選
専門コリア語Ⅰ	2	選
専門英語Ⅱ	2	選
専門中国語Ⅱ	2	選
専門コリア語Ⅱ	2	選
専門英語Ⅲ	2	選
専門英語Ⅳ	2	選
数学入門	2	選
基礎数学Ⅰ	2	選
基礎数学Ⅱ	2	選
数理モデル	2	選
統計学	2	選
プログラミング入門	2	選
応用プログラミングⅠ	2	選
コンピュータ・ネットワークⅠ	2	選
コンピュータ・ネットワークⅡ	2	選
社会データ処理基礎	2	選
社会データ分析入門	2	選
社会データ分析実践	2	選
社会調査法Ⅰ	2	選
社会調査法Ⅱ	2	選
社会調査法Ⅲ	2	選
哲学アプローチ	2	選
社会学アプローチ	2	選
経済学アプローチ	2	選
法学アプローチ	2	選
情報学アプローチ	2	選
政治学アプローチ	2	選
心理学アプローチ	2	選
経営学アプローチ	2	選
環境学アプローチ	2	選
国際関係論アプローチ	2	選
倫理学	2	選
人間学	2	選
自然環境と生態系	2	選
環境政策論	2	選
生命倫理学	2	選
生命の起源と進化	2	選
現代人権論	2	選
多様性の生物学	2	選



環境開発論	2	選
応用倫理学	2	選
エネルギーと環境	2	選
環境社会学	2	選
臨床心理学	2	選
文化人類学	2	選
社会学概論	2	選
社会心理学	2	選
文化社会学	2	選
ニューロサイエンス概論	2	選
精神医学概論	2	選
メディア文化論	2	選
労働の社会学	2	選
人間関係の心理学	2	選
比較文化精神医学	2	選
現代宗教論	2	選
家族社会学	2	選
福祉と家族	2	選
地域社会学	2	選
市民活動論	2	選
家族法	2	選
民俗文化論	2	選
国際結婚論	2	選
比較家族史	2	選
ジェンダーと法	2	選
家族経済論	2	選
家族の人類学	2	選
ジェンダーの社会学	2	選
政治過程論	2	選
マイノリティと法	2	選
日本国憲法	2	選
行政学	2	選
法社会学	2	選
民法	2	選
比較政治論	2	選
行政法	2	選
社会福祉論	2	選
地方自治論	2	選
都市政策論	2	選
労働法	2	選
社会保障制度論	2	選
マクロ経済学	2	選
ミクロ経済学	2	選
経営戦略論	2	選
簿記Ⅰ	2	選
金融論	2	選
財政学	2	選
組織マネジメント論	2	選
簿記Ⅱ	2	選
国際経営論	2	選
マーケティング論	2	選
会計学	2	選
日本経済史	2	選
教育経済学	2	選
マーケティング分析	2	選

アルゴリズム論	2	選
情報数学	2	選
社会情報学	2	選
情報ネットワーク	2	選
情報文明論	2	選
ロボット社会論	2	選
情報理論	2	選
情報セキュリティ	2	選
データベース	2	選
応用データベース	2	選
知能情報学	2	選
Web システムデザイン	2	選
現代ヨーロッパ論	2	選
現代アジア論	2	選
現代アフリカ論	2	選
現代北米論	2	選
国際関係論	2	選
現代イスラーム地域論	2	選
現代ラテンアメリカ論	2	選
国際法	2	選
国際関係史	2	選
国際経済学	2	選
国際観光論	2	選
多文化社会論	2	選
現代世界経済論	2	選
ソーシャル・リサーチ I	2	選
ソーシャル・リサーチ II	2	選
フィールド・ワーク I	2	選
フィールド・ワーク II	2	選
簿記III	2	選
サービス経営特論	2	選
応用プログラミングII	2	選
ヒューマンコンピュータインタラクション	2	選
応用ネットワーク	2	選
プロジェクト管理	2	選
ネットワーク運用	2	選
情報技術者の社会的責任	2	選
多文化理解実習	2	選
国際協力論	2	選
短期英語研修 A	4	選
短期英語研修 B	2	選
Japan Studies 1	2	選
Japan Studies 2	2	選
Study Abroad A I	4	選
Study Abroad A II	4	選
Study Abroad A III	4	選
Study Abroad A IV	4	選
Study Abroad A V	4	選
Study Abroad A VI	4	選
Study Abroad A VII	4	選
Study Abroad A VIII	4	選
Study Abroad B I	2	選
Study Abroad B II	2	選
特講 A	2	選
特講 B	2	選

特講 C	2	選
特講 D	2	選
日本史概論	2	選
東洋史概論	2	選
西洋史概論	2	選
歴史地理学概論	2	選
人文地理学概論	2	選
地誌学概論	2	選
自然地理学概論	2	選
社会科教育法 (地理歴史分野)	2	選
社会科教育法 (公民分野)	2	選
地理歴史科教育法	2	選
公民科教育法	2	選
情報科教育法 1	2	選
情報科教育法 2	2	選
基礎演習 I	2	必
基礎演習 II	2	必
演習 I	2	必
演習 II	2	必
演習 III	2	必
演習 IV	2	必
演習 V	2	必
演習 VI	2	必
卒業論文	4	必

## 法学部法学科

科目名	単位数	必選の別
<b>専門科目</b>		
法学入門	2	選
司法制度入門	2	選
導入演習	2	必
日本法制史	2	選
西洋法制史	2	選
法社会学	2	選
法哲学	2	選
英米法 I	2	選
英米法 II	2	選
憲法 I A (人権)	2	必
憲法 I B (人権)	2	選
憲法 II A (統治)	2	選
憲法 II B (統治)	2	選
行政法総論 I	2	選
行政法総論 II	2	選
行政救済法	2	選
地方自治法	2	選
民法 I A (総則)	2	必
民法 I B (総則)	2	選
民法 II (物権)	2	選
民法 III (担保物権)	2	選
民法 IV A (債権総論)	2	選
民法 IV B (債権総論)	2	選
民法 V A (債権各論)	2	選
民法 V B (債権各論)	2	選
民法 VI A (親族・相続)	2	選
民法 VI B (親族・相続)	2	選
民事訴訟法 I	2	選
民事訴訟法 II	2	選
民事執行法・民事保全法	2	選
破産法	2	選
企業法総論	2	必
商取引法	2	選
会社法 I (ガバナンス)	2	選
会社法 II (ファイナンス)	2	選
保険法	2	選
有価証券法	2	選
刑法 I A (総論)	2	必
刑法 I B (総論)	2	選
刑法 II A (各論)	2	選
刑法 II B (各論)	2	選
刑事訴訟法 I	2	選
刑事訴訟法 II	2	選
刑事政策 I (犯罪原因)	2	選
刑事政策 II (犯罪対策)	2	選
少年法	2	選

租税法	2	選
生命倫理法	2	選
法と心理	2	選
労働法 I	2	選
労働法 II	2	選
社会保障法	2	選
知的財産法 I	2	選
知的財産法 II	2	選
消費者法	2	選
経済法	2	選
模擬裁判	2	選
国際機構論	2	選
国際法 I A	2	選
国際法 I B	2	選
国際法 II	2	選
国際法 III	2	選
国際私法 I A	2	選
国際私法 II A	2	選
国際私法 I B	2	選
国際私法 II B	2	選
政治学	2	選
政治思想史	2	選
比較政治論	2	選
行政学	2	選
財政学	2	選
政策学	2	選
地方自治論	2	選
国際社会と日本	2	選
国際人權論	2	選
国際関係論	2	選
グローバル社会論	2	選
平和研究 I	2	選
平和研究 II	2	選
国際関係史	2	選
ミクロ経済学	2	選
マクロ経済学	2	選
国際経済学	2	選
会計学	2	選
ジェンダー法 I	2	必
ジェンダー法実習	2	選
ジェンダー法 II	2	選
ジェンダー法 III	2	選
ジェンダー法 IV	2	選
ジェンダー法 V	2	選
ジェンダー法 VI	2	選
生命と法	2	選
平和と女性	2	選
実務法学基礎 I	2	選
実務法学基礎 II	2	選
実務法学基礎 III	2	選

実務法学Ⅰ	2	選
実務法学Ⅱ	2	選
法律アクティブ・リサーチⅠ	2	選
法律アクティブ・リサーチⅡ	2	選
外国語文献講読Ⅰ（英）	2	選
外国語文献講読Ⅰ（仏）	2	選
外国語文献講読Ⅰ（独）	2	選
外国語文献講読Ⅱ（英）	2	選
基礎演習	2	必
専門入門演習Ⅰ	2	必
専門入門演習Ⅱ	2	必
事例演習Ⅰ	2	必
事例演習Ⅱ	2	必
専門演習Ⅰ	2	必
専門演習Ⅱ	2	必
法学文献講読	2	選
日本史概論	2	選
東洋史概論	2	選
西洋史概論	2	選
心理学アプローチ	2	選
倫理学	2	選
歴史地理学概論	2	選
人文地理学概論	2	選
地誌学概論	2	選
自然地理学概論	2	選
生命倫理学	2	選
社会科教育法(地理歴史分野)	2	選
社会科教育法（公民分野）	2	選
地理歴史科教育法	2	選
公民科教育法	2	選
卒業研究	2	必

## データサイエンス学部データサイエンス学科

科目名	単位数	必選の別
価値創造への招待	2	必
経済学概論	2	選
経営学概論	2	選
社会学概論	2	選
計量経済学	2	選
リスクマネジメント	2	選
社会保障論	2	選
家族と社会	2	選
社会データ分析	2	選
数学への招待	2	必
確率・統計への招待	2	必
統計学入門	2	選
解析学Ⅰ	2	選
解析学Ⅰ演習	2	選
線形代数学	2	選
線形代数学演習	2	選
多変量解析Ⅰ	2	選
解析学Ⅱ	2	選
代数学	2	選
幾何学	2	選
プログラミングへの招待	2	必
プログラミングⅠ	2	選
データ処理演習	2	選
プログラミングⅡ	2	選
プログラミングⅡ演習	2	選
データ構造とアルゴリズム	2	選
応用計量経済学	2	選
医療経済学	2	選
人と組織のマネジメント	2	選
データから見る家族	2	選
疫学統計と生活	2	選
データサイエンス実践概論	2	選
データサイエンス社会実装論	2	選
教育・労働経済学	2	選
公的統計	2	選
計量経済分析	2	選
イノベーション論	2	選
戦略的資源管理論	2	選
マーケティング	2	選

- ・数学（教科） → 青
- ・数学（指導法） → 緑
- ・情報（教科） → 黄色
- ・情報（指導法） → 緑
- ・数学・情報【共通開設】 → ピンク
- ・数学（教免科目に該当しない） → 赤
- ・情報（教免科目に該当しない） → グレー

現代ビジネスと金融	2	選
社会調査法	2	選
行動経済学	2	選
データサイエンティストのキャリア論	2	選
マーケティングデータ分析	2	選
公共経営	2	選
コーポレート・ファイナンス	2	選
調査設計論	2	選
生存時間解析	2	選
回帰分析	2	選
多変量解析Ⅱ	2	選
実験計画法	2	選
文化計量学	2	選
時系列解析	2	選
計算機統計学	2	選
最適化理論	2	選
医療統計	2	選
空間統計学	2	選
心理分析	2	選
行列モデリング	2	選
AI・機械学習Ⅰ	2	選
AI・機械学習Ⅰ演習	2	選
シミュレーション	2	選
AI・機械学習Ⅱ	2	選
AI・機械学習Ⅱ演習	2	選
マルチメディア処理	2	選
データベース	2	選
情報ネットワーク	2	選
バイオインフォマティクス	2	選
数値解析	2	選
画像処理	2	選
シミュレーションと宇宙	2	選
自然言語処理	2	選
ソフトウェア設計	2	選
Webプログラミング	2	選
情報倫理・情報社会	2	選
数学科教育法1	2	選
数学科教育法2	2	選
数学科教育法3	2	選
数学科教育法4	2	選



情報科教育法 1	2	選
情報科教育法 2	2	選
入門演習 I	2	必
入門演習 II	2	必
データサイエンス基礎演習 I	2	必
データサイエンス基礎演習 II	2	必
データサイエンス実践演習 I	2	必
データサイエンス実践演習 II	2	必
データサイエンス上級実践演習 I	2	必
データサイエンス上級実践演習 II	2	必
卒業研究	4	必

別表 2

教職に関する専門教育科目

科 目 名	単位数
<u>教職論</u>	2
<u>教育原論</u>	2
<u>教育心理学</u>	2
<u>教育行政学</u>	2
<u>教育課程論</u>	2
<u>特別支援教育論</u>	1
<u>道徳教育論</u>	2
<u>特別活動及び総合的な学習の時間指導法</u>	2
<u>教育方法論</u>	2
<u>生徒指導論</u>	2
<u>進路指導論</u>	2
<u>教育実習論</u>	1
<u>教育実習</u>	2
<u>中学校教育実習</u>	2
<u>教職実践演習（中・高）</u>	2
<u>人権教育論</u>	1
<u>日本国憲法</u>	2
栄養教育実習指導	1
栄養教育実習	1
教職実践演習（栄養教諭）	2

別表 3

## 1 管理栄養士専門科目

管理栄養士学校指定規則の規定			本学規定科目				
教育内容	単位数		科目名	単位数		必選の別	
	講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習		
専門基礎分野	社会・環境と健康	6	10	健康環境論	2		必
				公衆衛生学	2		必
				介護福祉概論	2		必
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	14		解剖生理学	2		必
				応用生理学	2		必
				生化学	2		必
				分子栄養学	2		必
				臨床医学概論	2		必
				臨床病態学	2		必
				微生物学	2		必
				生理学実験		1	必
				解剖生理学実験		1	必
				生化学実験		1	必
	バイオテクノロジー実験			1	必		
	食べ物と健康	8		食品学総論	2		必
				食品学各論	2		必
				食品衛生学	2		必
				応用調理学	2		必
				食品学実験		2	必
				食品加工学実習		1	必
食品衛生学実験				1	必		
調理学実習Ⅰ				1	必		
調理学実習Ⅱ		1	必				
専門基礎分野合計	28	10		28	10		
専門分野	基礎栄養学	2	8	基礎栄養学	2		必
				基礎栄養学実習		1	必
	応用栄養学	6		ライフステージ別栄養学	2		必
				栄養評価論	2		必
				栄養機能論	1		必
				運動栄養学	1		必
				ライフステージ別栄養学実習		1	必
	栄養教育論	6		栄養教育総論	2		必
				栄養教育各論	2		必
				栄養カウンセリング論	2		必
				栄養教育論実習		1	必
	臨床栄養学	8		病態栄養学	2		必
				臨床栄養学	2		必
				臨床栄養管理学	2		必
				栄養薬理学	1		必
				チーム医療論	1		必
				臨床栄養学実習		1	必
	公衆栄養学	4		臨床栄養管理学実習		1	必
公衆栄養学			2		必		
公衆栄養活動論			1		必		
栄養疫学			1		必		
公衆栄養学実習				1	必		

給食経営 管理論	4		給食運営論	2		必
			給食経営管理論	2		必
			給食運営実習		1	必
			給食経営管理実習		1	必
総合演習	2	—	給食運営校外実習事前事後指導	1		必
			臨地実習事前事後指導	1		必
			管理栄養士特別演習	2		必
臨地実習	—	4	給食運営校外実習		1	必
			臨地実習（臨床栄養学Ⅰ）		1	選
			臨地実習（臨床栄養学Ⅱ）		1	選
			臨地実習（臨床栄養学Ⅲ）		1	選
			臨地実習（公衆栄養学）		1	選
臨地実習（給食経営管理論）		1	選			
専門分野合計	32	12		34	12	
合計	60	22		62	22	

備考 臨地実習については5科目中3科目を選択履修すること。その他の学則規定科目は必修

## 2 栄養士専門科目

法定規定科目	本学規定科目	単位数	
		講義又は演習	実験又は実習
社会生活と健康	公衆衛生学	2	
	介護福祉概論	2	
人体の構造と機能	解剖生理学	2	
	応用生理学	2	
	生化学	2	
	分子栄養学	2	
	生理学実験		1
	生化学実験		1
食品と衛生	食品学総論	2	
	食品学各論	2	
	食品衛生学	2	
	食品学実験		2
	食品加工学実習		1
	食品衛生学実験		1
栄養と健康	基礎栄養学	2	
	基礎栄養学実習		1
	ライフステージ別栄養学	2	
	運動栄養学	1	
	栄養機能論	1	
	ライフステージ別栄養学実習		1
	臨床栄養学	2	
	臨床栄養学実習		1
栄養の指導	栄養教育総論	2	
	栄養教育各論	2	
	栄養教育論実習		1
	公衆栄養学	2	
	公衆栄養学実習		1
給食の運営	給食運営論	2	
	応用調理学	2	
	調理学実習Ⅰ		1
	調理学実習Ⅱ		1
	給食運営実習		1
	給食経営管理実習		1
	給食運営校外実習		1
	給食運営校外実習事前事後指導	1	

備考 本学規定科目は全て必修

## 3 博物館学芸員資格に関する授業科目

博物館法施行規則で定める科目			本学規定科目及び単位数	
必修 の別	科目	単位数	授業科目	単位数
必修 科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論	2
	博物館概論	2	生涯学習概論 I	2
	博物館経営論	2	博物館概論	2
	博物館資料論	2	博物館経営論	2
	博物館資料保存論	2	博物館資料論	2
	博物館展示論	2	博物館資料保存論	2
	博物館教育論	2	博物館展示論	2
	博物館情報・メディア論	2	博物館教育論	2
	博物館実習	3	博物館情報論	1
	博物館実習	3	視聴覚教育メディア論	1
小 計	19	博物館実習 I	2	
		博物館実習 II	2	
		小 計	20	
選択 科目			I 風俗文化史 A	2
			風俗文化史 B	2
			日本古文書 I A	2
			日本古文書 I B	2
			近代日本絵画史	2
			デザインマーケティング論	2
			児童文化活動論	2
			児童文学論	2
			II 日本美術史 A	2
			日本美術史 B	2
			東洋美術史	2
			西洋美術史	2
			京都学	2
			京都工芸論 1	2
			京都工芸論 2	2
			World Art History 1	2
			World Art History 2	2
			現代文化・芸術論	2
			III 民俗学	2
			考古学 A	2
		考古学 B	2	
		絵本論	2	
		民俗文化論	2	
		IV		
		V 自然環境と生態系	2	
		環境開発論	2	
		多様性の生物学	2	
		生命の起源と進化	2	

(注) 選択科目から 2 系列以上にわたり 8 単位以上を履修すること。

## 4 社会教育主事に関する授業科目

社会教育主事講習等規程で定める科目		本学規定科目及び単位数		
科目	単位数	授業科目	単位数	
生涯学習概論	4	生涯学習概論Ⅰ	2	
		生涯学習概論Ⅱ	2	
生涯学習支援論	4	生涯学習支援論Ⅰ	2	
		生涯学習支援論Ⅱ	2	
社会教育経営論	4	社会教育経営論Ⅰ	2	
		社会教育経営論Ⅱ	2	
社会教育特講	8	ジェンダーと教育	2	
		児童社会学	2	
		家庭教育論	2	
		教育社会学	2	
		教育行政学	2	
		学校外教育論	2	
		教育・福祉連携論	2	
		児童文化活動論	2	
社会教育実習	1	社会教育実習	2	
社会教育演習 社会教育実習 社会教育課題研究	3	いずれか 1つ以上 の科目	社会教育演習	2
社会教育基礎実習			2	
社会教育課題研究			2	
児童文化学実習			2	
合計	24	合計	26	

## 5 図書館司書に関する授業科目

図書館法施行規則で定める科目				本学規定科目及び単位数		
科目		単位	必選の別	授業科目	単位	必選の別
甲 群	生涯学習概論	2	必	生涯学習概論	2	必
	図書館概論	2	必	図書館概論	2	必
	図書館制度・経営論	2	必	図書館制度・経営論	2	必
	図書館情報技術論	2	必	図書館情報技術論	2	必
	図書館サービス概論	2	必	図書館サービス概論	2	必
	情報サービス論	2	必	情報サービス論	2	必
	児童サービス論	2	必	児童サービス論	2	必
	情報サービス演習	2	必	情報サービス演習	2	必
	図書館情報資源概論	2	必	図書館情報資源概論	2	必
	情報資源組織論	2	必	情報資源組織論	2	必
	情報資源組織演習	2	必	情報資源組織演習Ⅰ	1	必
情報資源組織演習Ⅱ				1	必	
乙 群	図書館基礎特論	1	2科目以上選択必修	図書館基礎特論	2	選
	図書館サービス特論	1		図書館サービス特論	2	選
	図書館情報資源特論	1		図書館情報資源特論	2	選
	図書・図書館史	1		図書・図書館史	2	選
	図書館施設論	1		図書館施設論	2	選
	図書館総合演習	1		図書館総合演習	2	選
	図書館実習	1		図書館実習	2	選

## 6 司書教諭に関する授業科目

学校図書館司書教諭講習規程で定める科目			本学規定科目及び単位数		
科目	単位	必選の別	授業科目	単位	必選の別
学校経営と学校図書館	2	必	学校経営と学校図書館	2	必
学校図書館メディアの構成	2	必	学校図書館メディアの構成	2	必
学習指導と学校図書館	2	必	学習指導と学校図書館	2	必
読書と豊かな人間性	2	必	読書と豊かな人間性	2	必
情報メディアの活用	2	必	情報メディアの活用	2	必

## 7 保育士資格に関する授業科目

区分	指定保育士養成施設の指定基準科目				本学規定科目			
	規定科目	授業形態	単位数	必選の別	授業科目	時間	単位数	必選の別
教養科目	外国語、体育以外の科目	—	6以上	必	仏教学ⅠA	30	2	必
					仏教学ⅠB	30	2	必
					仏教学ⅡA	30	2	必
					仏教学ⅡB	30	2	必
					人権教育論	15	1	必
	外国語	演習	2以上	必	英語ⅠA1	30	1	必
					英語ⅠA2	30	1	必
	体育	講義	1	必	運動と健康科学	30	2	必
		実技	1	必	スポーツ実践	30	1	必
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	必	保育原理	30	2	必
	教育原理	講義	2	必	教育原論	30	2	必
	子ども家庭福祉	講義	2	必	児童家庭福祉	30	2	必
	社会福祉	講義	2	必	社会福祉	30	2	必
	子ども家庭支援論	講義	2	必	子ども家庭支援論	30	2	必
	社会的養護Ⅰ	講義	2	必	社会的養護Ⅰ	30	2	必
	保育者論	講義	2	必	教職論	30	2	必
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	必	発達心理学Ⅰ	30	2	必
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	必	発達心理学Ⅱ	30	2	必
	子ども理解と援助	演習	1	必	教育心理学Ⅱ	30	2	必
	子どもの保健	講義	2	必	児童保健学	30	2	必
	子どもの食と栄養	演習	2	必	児童栄養	30	2	必
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	必	教育課程論	30	2	必
	保育内容総論	演習	1	必	保育内容総論	30	1	必
	保育内容演習	演習	5	必	保育内容演習（健康）	30	1	必
					保育内容演習（人間関係）	30	1	必
					保育内容演習（環境）	30	1	必
					保育内容演習（言葉）	30	1	必
					保育内容演習（表現）	30	1	必
	保育内容の理解と方法	演習	4	必	児童音楽Ⅰ	60	2	必
児童体育Ⅰ					30	2	必	
児童図工Ⅰ					60	2	必	



					児童文化学実習	60	2	必
	乳児保育Ⅰ	講義	2	必	乳児保育Ⅰ	30	2	必
	乳児保育Ⅱ	演習	1	必	乳児保育Ⅱ	30	1	必
	子どもの健康と安全	演習	1	必	児童保健学演習	60	2	必
	障害児保育	演習	2	必	障害児保育	30	2	必
	社会的養護Ⅱ	演習	1	必	社会的養護Ⅱ	30	1	必
	子育て支援	演習	1	必	子育て支援	30	1	必
保育 実習	保育実習Ⅰ	実習	4	必	保育実習Ⅰ	160	4	必
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	必	保育実習指導Ⅰ	30	2	必
総合 演習	保育実践演習	演習	2	必	保育・教職実践演習 (幼)	30	2	必
保育の対象の理解に関する科目					特別支援教育論	15	1	選
保育の内容・方法に関する科目					幼児と健康	30	2	選
					幼児と人間関係	30	2	選
					幼児と環境	30	2	選
					幼児と言葉	30	2	選
					幼児と表現	30	2	選
					幼児教育方法論	30	2	選
					人形劇演習	60	2	選
					児童文化活動論	30	2	選
					絵本論	30	2	選
					児童音楽Ⅱ	30	2	選
					児童体育Ⅱ	30	2	選
					児童図工Ⅱ	30	2	選
					保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ		9単位以上(うち保育実習3単位以上(うち保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ2単位以上、保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ1単位以上))
保育実習Ⅲ	80	2	選					
保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ		保育実習指導Ⅱ	15	1		選		
		保育実習指導Ⅲ	15	1		選		

## 8 社会福祉士国家試験受験資格に関する授業科目

法定規定科目					本学規定科目			
科目	時間	単位	必選	科目	時間	単位	必選	
人間と社会及びその関係性の理解 (90 時間)	医学概論	30	2	必	解剖生理学	30	2	必
	心理学と心理的支援	30	2	必	臨床医学概論	30	2	必
	社会学と社会システム	30	2	必	心理学	30	2	必
複合化・複雑化した福祉課題及び包括的な支援の理解 (240 時間)	社会福祉の原理と政策	60	4	必	社会福祉概論 I	30	2	必
					社会福祉概論 II	30	2	必
	社会保障	60	4	必	社会保障論 I	30	2	必
					社会保障論 II	30	2	必
	権利擁護を支える法制度	30	2	必	法学	30	2	必
	地域福祉と包括的支援体制	60	4	必	地域福祉論 I	30	2	必
					地域福祉論 II	30	2	必
	高齢者福祉	30	2	必	老人福祉論	30	2	必
	障害者福祉	30	2	必	障害者福祉論	30	2	必
	児童・家庭福祉	30	2	必	児童・家庭福祉論	30	2	必
	貧困に対する支援	30	2	必	公的扶助論	30	2	必
	保健医療と福祉	30	2	必	保健医療論	30	2	必
	刑事司法と福祉	30	2	必	刑事司法と福祉	30	2	必
ソーシャルワークの基礎及び理論と方法の理解 (240 時間)	ソーシャルワークの基盤と専門職	30	2	必	ソーシャルワークの基盤と専門職 I	30	2	必
	ソーシャルワークの基盤と専門職 (専門)	30	2	必	ソーシャルワークの基盤と専門職 II	30	2	必
	ソーシャルワークの理論と方法	60	4	必	ソーシャルワーク論 I	30	2	必
					ソーシャルワーク論 II	30	2	必
	ソーシャルワークの理論と方法 (専門)	60	4	必	ソーシャルワーク論 III	30	2	必
					ソーシャルワーク論 IV	30	2	必
	社会福祉調査の基礎	30	2	必	社会福祉調査	30	2	必
福祉サービスの組織と経営	30	2	必	福祉サービスの組織と経営	30	2	必	
ソーシャルワークの方法及び実践の理解 (480 時間)	ソーシャルワーク演習	30	1	必	ソーシャルワーク演習 I	30	1	必
	ソーシャルワーク演習 (専門)	120	4	必	ソーシャルワーク演習 II	30	1	必
					ソーシャルワーク演習 III	30	1	必
					ソーシャルワーク演習 IV	30	1	必
					ソーシャルワーク演習 V	30	1	必
	ソーシャルワーク実習指導	90	3	必	ソーシャルワーク実習指導	90	3	必
ソーシャルワーク実習	240	4	必	ソーシャルワーク実習	240	4	必	
法定規定科目合計単位数		1200	60		本学規定科目合計単位数		1230	62

## 9 食品衛生管理者及び食品衛生監視員に関する授業科目

法定規定科目	本学規定科目
--------	--------

科目群	単位	授業科目	単位	必選の別
A群 化学関係	各群1科目以上 合計22単位以上	基礎の化学	2	必
		基礎の有機化学	2	必
B群 生物化学関係		基礎の生物学	2	必
		解剖生理学	2	必
C群 微生物学関係		生化学	2	必
		食品学総論	2	必
		食物栄養の化学	2	必
		分子栄養学	2	必
D群 公衆衛生学関係		微生物学	2	必
		食品学各論	2	必
		公衆衛生学	2	必
		食品衛生学	2	必
E群 その他関連科目		基礎実験	1	必
		食品学実験	2	必
	応用調理学	2	必	
	基礎栄養学	2	必	
	生理学実験	1	必	
	食品衛生学実験	1	必	
	生化学実験	1	必	
	機器分析概論	2	必	
	食品加工学実習	1	選	
	臨床医学概論	2	選	
	応用生理学	2	選	
	臨床病態学	2	選	
	給食運営論	2	選	
	給食運営実習	1	選	
バイオテクノロジー実験	1	選		
公衆栄養学	2	選		
合計	40 単位以上	合計	40 単位	

## 10 公認心理師国家試験受験資格に関する授業科目

法定規定科目	本学規定科目及び単位数			備考
公認心理士の職責	公認心理士の職責	2	必	
心理学概論	心理学概論	2	必	
臨床心理学概論	臨床心理学概論	2	必	

心理学研究法	心理学研究法 I	2	必	
心理学統計法	心理学統計法	2	必	
心理学実験	心理学実験 I	2	必	
知覚・認知心理学	知覚・認知心理学 A	2	必	
	知覚・認知心理学 B	2	必	
学習・言語心理学	学習・言語心理学 A	2	必	
	学習・言語心理学 B	2	必	
感情・人格心理学	感情・人格心理学	2	必	
神経・生理心理学	神経・生理心理学	2	必	
社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学 A	2	必	
	社会・集団・家族心理学 B	2	必	
発達心理学	発達心理学	2	必	
障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	2	必	
心理的アセスメント	心理的アセスメント	2	必	
心理学的支援法	心理学的支援法 A	2	必	
	心理学的支援法 B	2	必	
健康・医療心理学	健康・医療心理学	2	必	
福祉心理学	福祉心理学	2	必	
教育・学校心理学	教育・学校心理学 A	2	必	
	教育・学校心理学 B	2	必	
司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学 A	2	必	
	司法・犯罪心理学 B	2	必	
産業・組織心理学	産業・組織心理学	2	必	
人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	2	必	
精神疾患とその治療	精神疾患とその治療	2	必	
関係行政論	関係行政論	2	必	
心理演習	心理演習 A	2	必	
	心理演習 B	2	必	
心理実習	心理実習	2	必	80 時間

## 11 日本語教師養成課程に関する科目

本学規定科目及び単位数			単位数	
英語 I A1	1	必	必修 20 単位	
英語 I B1	1	必		
ドイツ語 I A1、フランス語 I A1、 中国語 I A1、コリア語 I A1 のいずれか 1 科目	1	必		
ドイツ語 I B1、フランス語 I B1、 中国語 I B1、コリア語 I B1 のいずれか 1 科目	1	必		
情報リテラシー基礎	2	必		
キャリア開発 I	2	必		
日本語教育入門	2	必		
言語と社会	2	必		
言語と心理	2	必		
言語と教育	2	必		
日本語の構造	2	必		
日本語教育実習	2	必		
ことばとコミュニケーション	2	選		選択 6 単位以上
中国文学史 A	2	選		
中国文学史 B	2	選		
国文学史 2A	2	選		
国文学史 2B	2	選		
国語史 A	2	選		
国語史 B	2	選		
多文化教育論	2	選		
教育方法論	2	選		
生徒指導論	2	選		
生涯学習概論	2	選		
国文学基礎講座 A	2	選		
入門演習 A	2	選		
国文学史 1A	2	選		
漢文学 A	2	選		
異文化理解基礎講義	2	選		
言語習得論	2	選		
比較文化研究 1	2	選		
社会言語学	2	選		
生涯学習概論 I	2	選		
比較・国際教育論	2	選		
幼児理解と教育相談	2	選		
社会教育演習	2	選		
発達支援演習	2	選		
学習・言語心理学 B	2	選		
教育・学校心理学 A	2	選		
生徒指導心理学	2	選		
国際結婚論	2	選		
マイノリティと法	2	選		
多文化社会論	2	選		
英米法 I	2	選		
英米法 II	2	選		
国際法 II	2	選		
国際関係論	2	選		
平和研究 I	2	選		
平和研究 II	2	選		
合計			26 単位以上	

## 12 学校司書課程に関する科目

規定科目		本学規定科目及び単位数		
にスピ   サ	学校図書館概論	学校経営と学校図書館	2	必

	図書館情報技術論	図書館情報技術論	2	必
	図書館情報資源概論	図書館情報資源概論	2	必
	情報資源組織論	情報資源組織論	2	必
	情報資源組織演習	情報資源組織演習Ⅰ	1	必
		情報資源組織演習Ⅱ	1	必
	学校図書館サービス論	学校図書館サービス論	2	必
	学校図書館情報サービス論	情報サービス論	2	必
情報サービス演習		2	必	
児童支援に関する科目 生徒に対する教育	学校教育概論	教育原論	2	必
		教育心理学	2	必
		教育課程論	2	必
	学習指導と学校図書館	学習指導と学校図書館	2	必
	読書と豊かな人間性	読書と豊かな人間性	2	必

## 別表 3 の 2

## 日本語プログラム科目

科 目 名	単位数	必選の別
<b>日本語科目</b>		
語彙・文法（初級）	1	選
語彙・文法（中級）	1	選
語彙・文法（上級）	1	選
文章表現（初級）	1	選
文章表現（中級）	1	選
文章表現（上級）	1	選
会話（初級）	1	選
会話（中級）	1	選
会話（上級）	1	選
聴解（初級）	1	選
聴解（中級）	1	選
聴解（上級）	1	選
読解（初級）	1	選
読解（中級）	1	選
読解（上級）	1	選
応用会話（初級）	1	選
応用会話（中級）	1	選
応用会話（上級）	1	選
応用聴解（初級）	1	選
応用聴解（中級）	1	選
応用聴解（上級）	1	選
応用表現（初級）	1	選
応用表現（中級）	1	選
応用表現（上級）	1	選
日本語能力試験対策（初級）	1	選
日本語能力試験対策（中級）	1	選
日本語能力試験対策（上級）	1	選
ビジネス日本語(初級)	1	選
ビジネス日本語(中級)	1	選
ビジネス日本語(上級)	1	選
<b>関連科目</b>		
日本事情Ⅰ	2	選
日本事情Ⅱ	2	選
日本の文化と社会Ⅰ	2	選
日本の文化と社会Ⅱ	2	選
学術日本語Ⅰ	2	選
学術日本語Ⅱ	2	選
日本社会の基礎講座	4	選

別表 4

(単位：円)

入 学 検 定 料	35,000
-----------	--------

ただし、大学入試センター試験利用試験の場合は、15,000円とする。

別表 5

入学金

(単位：円)

入 学 金	250,000
-------	---------

ただし、編入学・再入学の合格者については入学金の一部を減免することがある。

別表 6

学費（平成 28 年度入学生まで適用）

(単位：円)

学費		入学年度	平成 22 年度から 平成 28 年度	
		前期	後期	
授 業 料	文 学 部	前期	440,000	
		後期	464,000	
	発 達 教 育 学 部	前期	440,000	
		後期	464,000	
		音 楽 教 育 学 専 攻	前期	440,000
			後期	577,000
	家 政 学 部	前期	440,000	
		後期	466,000	
	現 代 社 会 学 部	前期	440,000	
		後期	464,000	
	法 学 部	前期	440,000	
		後期	464,000	
教 育 充 実 費	文 学 部		142,000	
	発 達 教 育 学 部		142,000	
	音 楽 教 育 学 専 攻		145,000	
	家 政 学 部		142,000	
	現 代 社 会 学 部		142,000	
	法 学 部		142,000	

授業料、教育充実費等の学費の額は、経済情勢の変動等により、在学中に変更することがある。ただし、年度途中での改定は行わない。

編入学、転入学及び再入学の授業料、教育充実費等の学費の額は、入学を許可された年次に在籍する学生と同額とする。

- 付記 1 前期及び後期の授業料・教育充実費等は、本学所定の期日までに納入しなければならない。ただし、新入生（編入学・転入学・再入学を含む。）は、その入学年度の前期納入金については、第 32 条第 1 項に定める期間内に納入しなければならない。
- 2 入学年度後期以後の授業料・教育充実費等については、特別の事情がある者に限り、別に定めるところにより、その延期又は分納を許可することがある。



学費（平成 29・30 年度入学生に適用）

（単位：円）

学部・学科・専攻等		授業料	教育充実費
文学部			
国文学科	初年度	780,000	220,000
	2 年次以降	900,000	220,000
英文学科	初年度	800,000	220,000
	2 年次以降	920,000	220,000
史学科	初年度	780,000	220,000
	2 年次以降	900,000	220,000
発達教育学部			
教育学科			
教育学専攻	初年度	840,000	220,000
	2 年次以降	980,000	220,000
心理学専攻	初年度	840,000	220,000
	2 年次以降	980,000	220,000
音楽教育学専攻	初年度	1,040,000	220,000
	2 年次以降	1,140,000	220,000
児童学科	初年度	840,000	220,000
	2 年次以降	980,000	220,000
家政学部			
食物栄養学科	初年度	920,000	220,000
	2 年次以降	1,020,000	220,000
生活造形学科	初年度	900,000	220,000
	2 年次以降	1,000,000	220,000
生活福祉学科	初年度	840,000	220,000
	2 年次以降	940,000	220,000
現代社会学部			
現代社会学科	初年度	780,000	220,000
	2 年次以降	900,000	220,000
法学部			
法学科	初年度	780,000	220,000
	2 年次以降	880,000	220,000

授業料、教育充実費等の学費の額は、経済情勢の変動等により、在学中に変更することがある。ただし、年度途中での改定は行わない。

編入学、転入学及び再入学の授業料、教育充実費等の学費の額は、入学を許可された年次に在籍する学生と同額とする。

付記 1 前期及び後期の授業料・教育充実費等は、本学所定の期日までに納入しなければならない。ただし、新入生（編入学・転入学・再入学も含む。）は、その入学年度の前期納入金については、第 32 条第 1 項に定める期間内に納入しなければならない。

2 入学年度後期以後の授業料・教育充実費等については、特別の事情がある者に限り、別に定めるところにより、その延期又は分納を許可することがある。

学費(平成 31 年度から令和 4 年度までの入学生に適用)(単位：円)

学部・学科・専攻等		授業料	教育充実費
文 学 部			
国 文 学 科	初 年 度	780,000	250,000
	2 年 次 以 降	900,000	250,000
英 文 学 科	初 年 度	800,000	250,000
	2 年 次 以 降	920,000	250,000
史 学 科	初 年 度	780,000	250,000
	2 年 次 以 降	900,000	250,000
発 達 教 育 学 部			
教 育 学 科			
教 育 学 専 攻	初 年 度	840,000	250,000
	2 年 次 以 降	980,000	250,000
養 護 ・ 福 祉 教 育 学 専 攻	初 年 度	840,000	250,000
	2 年 次 以 降	980,000	250,000
音 楽 教 育 学 専 攻	初 年 度	1,040,000	250,000
	2 年 次 以 降	1,140,000	250,000
児 童 学 科	初 年 度	840,000	250,000
	2 年 次 以 降	980,000	250,000
心 理 学 科	初 年 度	840,000	250,000
	2 年 次 以 降	980,000	250,000
家 政 学 部			
食 物 栄 養 学 科	初 年 度	920,000	250,000
	2 年 次 以 降	1,020,000	250,000
生 活 造 形 学 科	初 年 度	900,000	250,000
	2 年 次 以 降	1,000,000	250,000
現 代 社 会 学 部			
現 代 社 会 学 科	初 年 度	800,000	250,000
	2 年 次 以 降	920,000	250,000
法 学 部			
法 学 科	初 年 度	780,000	250,000
	2 年 次 以 降	880,000	250,000

授業料、教育充実費等の学費の額は、経済情勢の変動等により、在学中に変更することがある。ただし、年度途中での改定は行わない。

編入学、転入学及び再入学の授業料、教育充実費等の学費の額は、入学を許可された年次に在籍する学生と同額とする。

付記 1 前期及び後期の授業料・教育充実費等は、本学所定の期日までに納入しなければならない。ただし、新入生(編入学・転入学・再入学も含む。)は、その入学年度の前期納入金については、第 32 条第 1 項に定める期間内に納入しなければならない。

2 入学年度後期以後の授業料・教育充実費等については、特別の事情がある者に限り、別に定めるところにより、その延期又は分納を許可することがある。

学費(令和 5 年度入学生から適用)

(単位：円)

学部・学科・専攻等		授業料	教育充実費
文 学 部			
国 文 学 科	初 年 度	780,000	250,000
	2 年 次 以 降	900,000	250,000
英 文 学 科	初 年 度	800,000	250,000
	2 年 次 以 降	920,000	250,000
史 学 科	初 年 度	780,000	250,000
	2 年 次 以 降	900,000	250,000
発 達 教 育 学 部			
教 育 学 科			
教 育 学 専 攻	初 年 度	840,000	250,000
	2 年 次 以 降	980,000	250,000

養護・福祉教育学専攻	初年度	840,000	250,000
	2年次以降	980,000	250,000
音楽教育学専攻	初年度	1,040,000	250,000
	2年次以降	1,140,000	250,000
児童学科	初年度	840,000	250,000
	2年次以降	980,000	250,000
心理学科	初年度	840,000	250,000
	2年次以降	980,000	250,000
家政学部			
食物栄養学科	初年度	920,000	250,000
	2年次以降	1,020,000	250,000
生活造形学科	初年度	900,000	250,000
	2年次以降	1,000,000	250,000
現代社会学部			
現代社会学科	初年度	800,000	250,000
	2年次以降	930,000	250,000
法学部			
法学科	初年度	780,000	250,000
	2年次以降	898,000	250,000
データサイエンス学部			
データサイエンス学科	初年度	900,000	250,000
	2年次以降	1,020,000	250,000

授業料、教育充実費等の学費の額は、経済情勢の変動等により、在学中に変更することがある。ただし、年度途中での改定は行わない。

編入学、転入学及び再入学の授業料、教育充実費等の学費の額は、入学を許可された年次に在籍する学生と同額とする。

付記 1 前期及び後期の授業料・教育充実費等は、本学所定の期日までに納入しなければならない。ただし、新入生(編入学・転入学・再入学も含む。)は、その入学年度の前期納入金については、第32条第1項に定める期間内に納入しなければならない。

2 入学年度後期以後の授業料・教育充実費等については、特別の事情がある者に限り、別に定めるところにより、その延期又は分納を許可することがある。

中学校教諭一種免許状 数学

(データサイエンス学科) 2023

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原論
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		教職論
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育行政学
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論
指導法及び生徒指導の科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育論
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間指導法
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術		教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論 (生徒指導と教育相談)
教育に関する実践科目	教育実践	5	教育実習 教育実習 中学校教育実習
	教職実践演習	2	教職実践演習 (中・高)
法定単位数 (合計27単位)			すべて必修 (合計28単位) ※1

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	代数学	数学への招待	2
		○ 線形代数学	2
		○ 線形代数学演習	2
	幾何学	代数学	2
		○ 幾何学	2
	解析学	○ 解析学 I	2
		解析学 I 演習	2
		解析学 II	2
	「確率論、統計学」	○ 確率・統計への招待	2
		統計学入門	2
回帰分析		2	
多変量解析 I		2	
時系列解析		2	
コンピュータ	多変量解析 II	2	
	○ プログラミング I	2	
	○ プログラミング II 演習	2	
	プログラミング II データ構造とアルゴリズム	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○ 数学科教育法 1	2	
	○ 数学科教育法 2	2	
	○ 数学科教育法 3	2	
	○ 数学科教育法 4	2	
法定単位数 (合計28単位)		○印を付した科目は必修。合計28単位以上修得すること。 ※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定大学が独自に	○人権教育論	1
	法定単位数 (27単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」	※1
	法定単位数 (28単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」	※2
○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	情報リテラシー	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

高等学校教諭一種免許状 数学

(データサイエンス学科) 2023

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		
教育実習に関する実践科目	教育実習	教育実習論	1
		教育実習	2
	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2
法定単位数 (合計23単位)		すべて必修 (合計24単位) ※1	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	代数学	数学への招待	2
		○線形代数学	2
		○線形代数学演習 代数学	2
	幾何学	○幾何学	2
		解析学	○解析学 I
	解析学 I 演習		2
	解析学 II		2
	「確率論、統計学」	○確率・統計への招待	2
		統計学入門	2
		回帰分析	2
多変量解析 I		2	
時系列解析 多変量解析 II		2	
コンピュータ	○プログラミング I	2	
	○プログラミング II 演習	2	
	プログラミング II	2	
	データ構造とアルゴリズム	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○数学科教育法 1	2	
	数学科教育法 2	2	
	○数学科教育法 3	2	
	数学科教育法 4	2	
法定単位数 (合計24単位)		○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。 ※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設大が独自に設定する科目	○人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数 (23単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
法定単位数 (24単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2		
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	情報リテラシー	2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

## 高等学校教諭一種免許状 情報

## (データサイエンス学科) 2023

## 教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論	2	
教育実科実践に関する科目	教育実習	教育実習	1
	教育実習	教育実習	2
	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2
法定単位数 (合計23単位)		すべて必修 (合計24単位) ※1	

## 教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	情報社会・情報倫理	○ 情報倫理・情報社会	2
	コンピュータ・情報処理 (実習を含む。)	プログラミングへの招待	2
		○ プログラミング I	2
		○ プログラミング II 演習	2
		プログラミング II	2
		データ構造とアルゴリズム	2
	情報システム (実習を含む。)	データベース	2
		○ ソフトウェア設計	2
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	Webプログラミング	2
		○ 情報ネットワーク	2
マルチメディア表現・マルチメディア技術 (実習を含む。)	○ マルチメディア処理	2	
	画像処理	2	
情報と職業	○ データサイエンス社会実装論	2	
	人と組織のマネジメント	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	データサイエンティストのキャリア論	2	
	○ 情報科教育法 1	2	
法定単位数 (合計24単位)		○ 情報科教育法 2	2
法定単位数 (合計24単位)		○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。 ※2	

## 大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定大学が独自に定める科目	○人権教育論	1
	道徳教育論	2
法定単位数 (23単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1		
法定単位数 (24単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2		
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。		

## 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	情報リテラシー	2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。